

《 みんなが協力 温もりと安心の 文化薫るまち 西田 》

# まちづくりプラン

第1期 2019年度（令和元年）～2023年度 地域振興計画

## 西田校区全景

城西一方面

鷹師・薬師一方面



常盤・薬師二方面



薬師一・鷹師方面



西田・常盤方面

薬師一・西田方面

## 西田校区まちづくり協議会

所在地 〒890-0042  
鹿児島市薬師二丁目31-1（西田校区公民館1F）  
TEL・FAX 099-800-6147  
E-Mail nishida@uma.bbiq.jp

## 目次

○	西田校区まちづくりプランの発行にあたって	1
I	まちづくりプラン策定のねらい	2
II	西田校区の概要	
1	校区の地図	3
2	校区の風景・行事	5
3	町名の由来	7
4	校区人口の推移	10
5	各町内会の概要及び行事等	11
III	各部の活動分析と課題	17
IV	西田校区まちづくりの目標	20
V	活動の体系表	21
VI	西田校区まちづくりプラン(地域振興計画)	22
VII	資料編	
1	西田校区まちづくり協議会の組織体系	28
2	西田校区まちづくりプラン策定の経緯	29
3	西田校区まちづくりに関する 住民アンケート調査結果	30

## 西田校区まちづくりプランの発行にあたって

西田校区まちづくり協議会

会長 堀内 英俊

2年前(平成29年4月), 長きに亘って続けられてきた「西田校区公民館運営審議会」が幕を閉じ, 新たに「西田校区まちづくり協議会」が発足しました。

この2年間は, 従来の審議会の行事を引き継ぐことで精一杯でしたが, 6町内会の役員の方々を中心に, 新しく加わった構成団体の代表者の方々の意見を取り込みながら, 運営方法の改善等に取り組んでまいりました。

いよいよ今年は, 新しいまちづくりを目指して, 5か年計画を策定し, 本格的にスタートする年となります。プラン策定に当たって実施しました意識調査(住民アンケート)には, 多数の校区民や構成団体・小中学生から回答をお寄せいただき, 誠にありがとうございました。そしてここに, それらの集約結果や各事業の目標設定・各町内会の現状と課題等について整理された「西田校区まちづくりプラン」が完成しました。

そのプランに表記された目標を, 1年1年着実に実行と反省を重ねながら少しでも皆さんが「みんなが協力 温もりと安心の 文化薫るまち」と感じてもらえるようなまちづくりに邁進していきたいと考えております。

そのためには, 皆さんからお寄せいただく声(要望など)が重要になってまいります。ぜひ, 忌憚のないご意見をお待ちしております。

今後とも協議会活動にご理解とご協力を, よろしくお願い申し上げます。

# I まちづくりプラン策定のねらい

「まちづくりプラン」とは、少子高齢化や核家族化が進展する社会において、私たちが住む西田校区の地域課題を解決したり、文化や歴史などの地域資源を活用したりして、新しいまちづくりに取り組んでいくための具体的な計画のことです。

西田校区の各種団体が連携しながら5か年計画で取り組んでまいります。

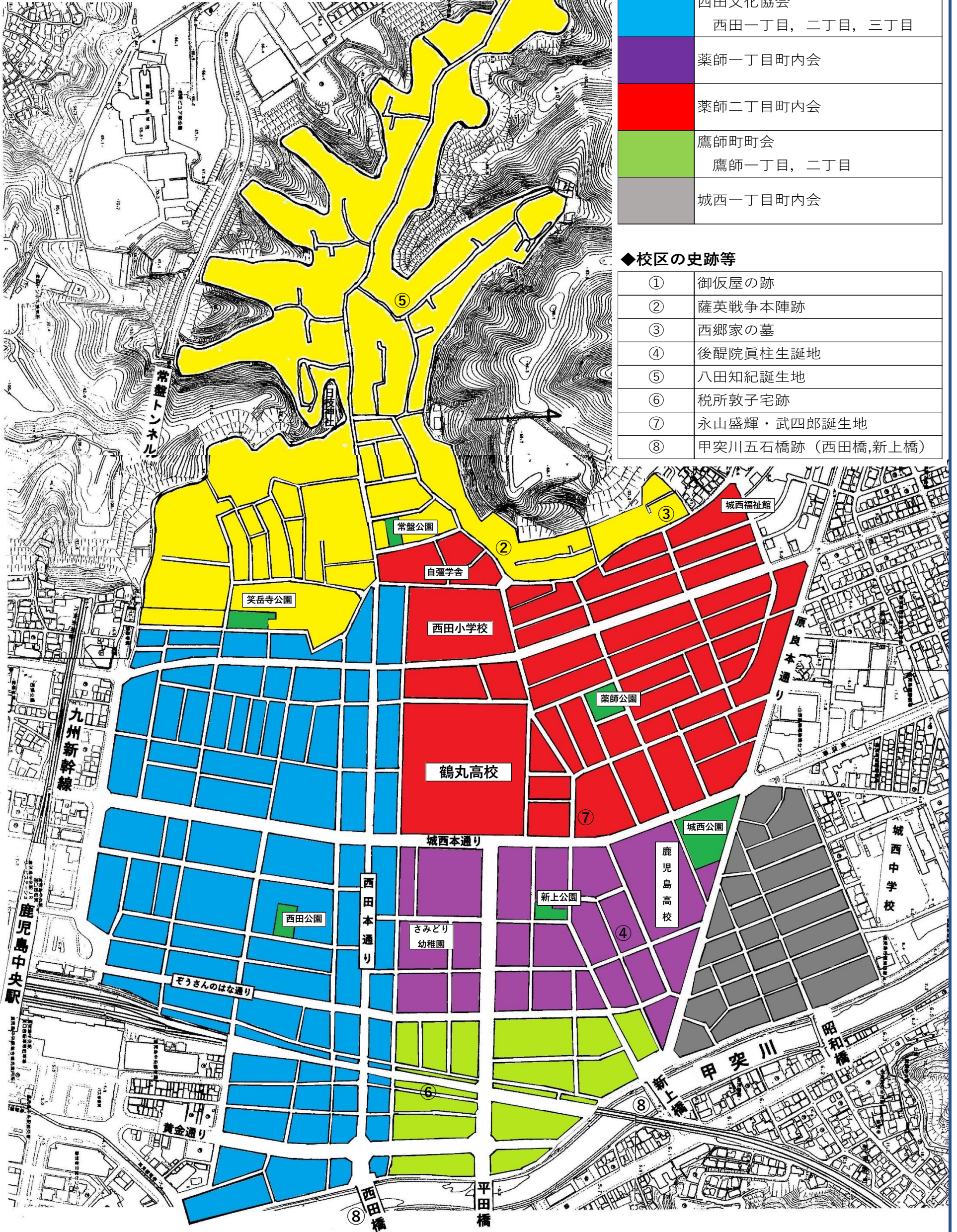
平成29年3月12日（日）に「西田校区まちづくり協議会設立大会」が開催され、規約・予算・役員等が承認された。





# Ⅱ 西田校区の概要

## 1-1 校区の地図(平面図)



### ◆町内会

区分	町内会名
常盤町内会 常盤一丁目, 二丁目 常盤町(一部を除く)	
西田文化協会 西田一丁目, 二丁目, 三丁目	
薬師一丁目町内会	
薬師二丁目町内会	
鷹師町町会 鷹師一丁目, 二丁目	
城西一丁目町内会	

### ◆校区の史跡等

①	御仮屋の跡
②	薩英戦争本陣跡
③	西郷家の墓
④	後醍醐院眞柱生誕地
⑤	八田知紀誕生地
⑥	税所敦子宅跡
⑦	永山盛輝・武四郎誕生地
⑧	甲突川五石橋跡(西田橋, 新上橋)



## 1-2 校区の地図(航空写真)

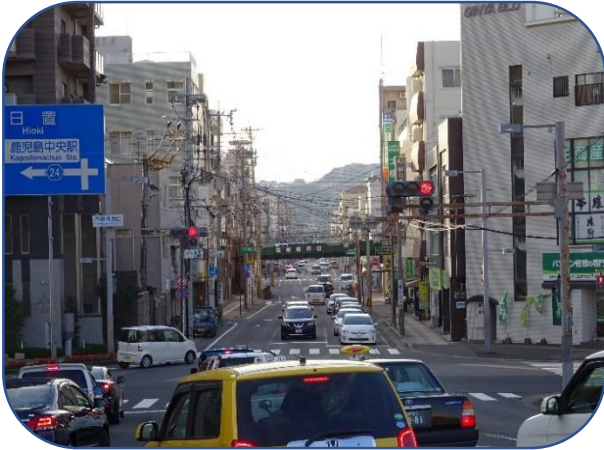
(白線は、常盤町、常盤一・二丁目、西田一・二・三丁目、薬師一・二丁目、城西一丁目、鷹師一・二丁目の外周部を示す。常盤町の一部は西田小校区外となる。)





## 2 校区の風景・行事

### ☆ 商業施設の連なる商店街の風景



西田本通り



ゾウさんのはな通り

### ☆ 古い歴史を持つ西田地区には、多くの史跡等がある。



薩英戦争本陣跡



西郷家の墓



永山盛輝・武四郎誕生地



歌人税所敦子宅跡



☆ 主催・共催等の校区の行事



校区民大運動会



校区文化祭



ふれあい交流大会



セゴドンのエンコ



校区青少年健全育成大会



鬼火たき



### 3 町名の由来

平成 19 年発行の西田校区郷土史誌(西田校区公民館運営審議会)から転記する。

\*\*\*\*\*

西田小学校区内には6つの町内会があるが、その源泉をたどれば江戸時代の西田方限(ニシダハウギリ)にみられる。江戸時代の西田方限は、北から永吉の一部、原良、鷹師、薬師、西田、常盤、武の北側までの広い地域にまたがっている。[西田方限とは、藩政時代の行政区画割(門割制度)の呼び方であり、「郷中」(ごちゅう)とも称した。]

#### ○ 西田

ここは鹿児島城下の西側にあり、広い田んぼが広がっていたところである。このことから「西の田」と呼ばれ「西田」になったもので、このことが「西田町」の名前のもとになった。明治 22 年に鹿児島市が生まれたとき、ほとんどのところは「○○町」とか「○○馬場町」とかの呼び名になったが、ここは「西田村」のままであった。鹿児島市では、西田村のほか荒田村と塩屋村(谷山)があった。

明治44年、西田村から常盤町が分かれ、また、「上尾畔」「尾畔」「稲荷免」「住吉」「上添」「上水流」という6つの字(あざ)は薬師町に編入された。この年「西田村」も「西田町」になったが、西田町になったのは「高崎」「地貫」「七つ枝」「八つ枝」の4つの字であった。

西田橋から水上坂を通過して横井への道は、江戸時代に参勤交代で藩主が通る道であり、ほかの藩から鹿児島入りするときの大切な道になっていた。それでこの道を「御成街道」とも呼び、西田橋の東のたもとには番所もつくられていた。また、道の両側に溝があり、今の西田町から常盤町に入るところに「丁門」(チョモン)と呼ばれる門があった。

このように西田町は、城下町として時代と共に息づいてきた古い歴史の町でもある。

大正・昭和の西田町は、北側は現在の薬師町の一部と南側は黒田通りまでの区域であったが、現在の西田一丁目が昭和 46 年1月1日に誕生し、昭和 50 年7月1日に黒田通りの南から旧西鹿児島駅西口あたりの武町の一部が西田二丁目に編入され、現在の西田一丁目、西田二丁目、西田三丁目の形ができた。

#### ○ 常盤

明治 22 年に鹿児島市が生まれたとき、このあたりは「西田村」の一部になっていた。明治44年の鹿児島市会(今の市議会)で、西田村の中の山手の「一の迫」「二の迫」「三の迫」「新迫」「楠迫」「枯木迫」「水上平」「田平」「常盤谷」「常盤」を一つにまとめて「常盤町」にすることが決まった。市会で決めた後、県の許可を受けて、その年の 10 月1日から「常盤町」と呼ぶようになった。

1867 年、島津家 20 代の藩主綱貴(犬幻公)は、枯木迫に別館を建てた。そして「常盤御殿」と名づけた。このことから、このあたりを「常盤谷」と呼ぶようになり、やがて「常盤町」の名前のもとになった。

藩政時代の水上坂には、休み茶屋があり、藩主の参勤交代の時はもちろん、ここを通

る一般の人々もここで休み、再会を喜び合ったり別れを惜しんだりしたところである。

水上坂は、今も変わらないかなり急な坂道であるが、藩政時代は主要な道路で賑わった所である。

この坂の下の方に冷たい水の湧きでる泉がある。今でも水神様とよんでいる。大名行列が通る街道であるが、城を出たあと、殿様はお飯屋(渡辺殿)や江田どんの屋敷(水神様の下方)で一泊して旅装束に着替え、お供の家来衆は水上坂を上り切った所で休息野宿し、殿を待って次の日出発したそうである。

## ○ 薬師

明治 22 年 4 月(1889 年)の鹿児島市制実施にともなって「薬師馬場町」になり、明治 32 年 1 月 9 日(1899 年)の町名改正により「薬師町」と改名された。また、明治 44 年 9 月 22 日に鹿児島郡西田村の一部を合併して現在にいたっている。

この町名については、故池田米男氏の記録に、「むかしは島津家の別殿の所在地で薬草苑があり、この苑内に薬師如来像が祭ってあった。今も薬師様奉妃の小堂が町内にあり、薬師町の町名はこれによる。」とするされている。したがってこのことから、薬師の町名は、この薬師様からおこったものと思われる。

薬師町の地域は、南は西田二・三丁目から北は原良町の間であり、また、東は鷹師二丁目から西は尾畔山の麓まで広がっている。また、郷土史「鹿児島のおいたち」は明治 22 年の市政施行のころのありさまを「西田方面では西田本通りにそうて山麓の常盤町まで街村的に家があった。また鷹師・原良・薬師町は広い田地が広がるだけで、西田町から玉里邸、玉江橋あたりまでは目をさえぎる一軒の農家もなかった。」とするされていることから、当時は大部分が田畑であったことが分かる。

## ※ 薬師町が三つの町内会に分かれる

昭和 37 年 11 月、鹿児島市行政区画変更に伴い、薬師町内区域の一区、二区、三区の理事 27 名で協議した結果、三町内会に分割することに決定し、昭和 38 年 4 月から発足し、次の通りそれぞれ名称を変更した。

- 一区 薬師一丁目(町内会)
- 二区 薬師二丁目(町内会)
- 三区 城西一丁目(町内会)

## ○ 鷹師

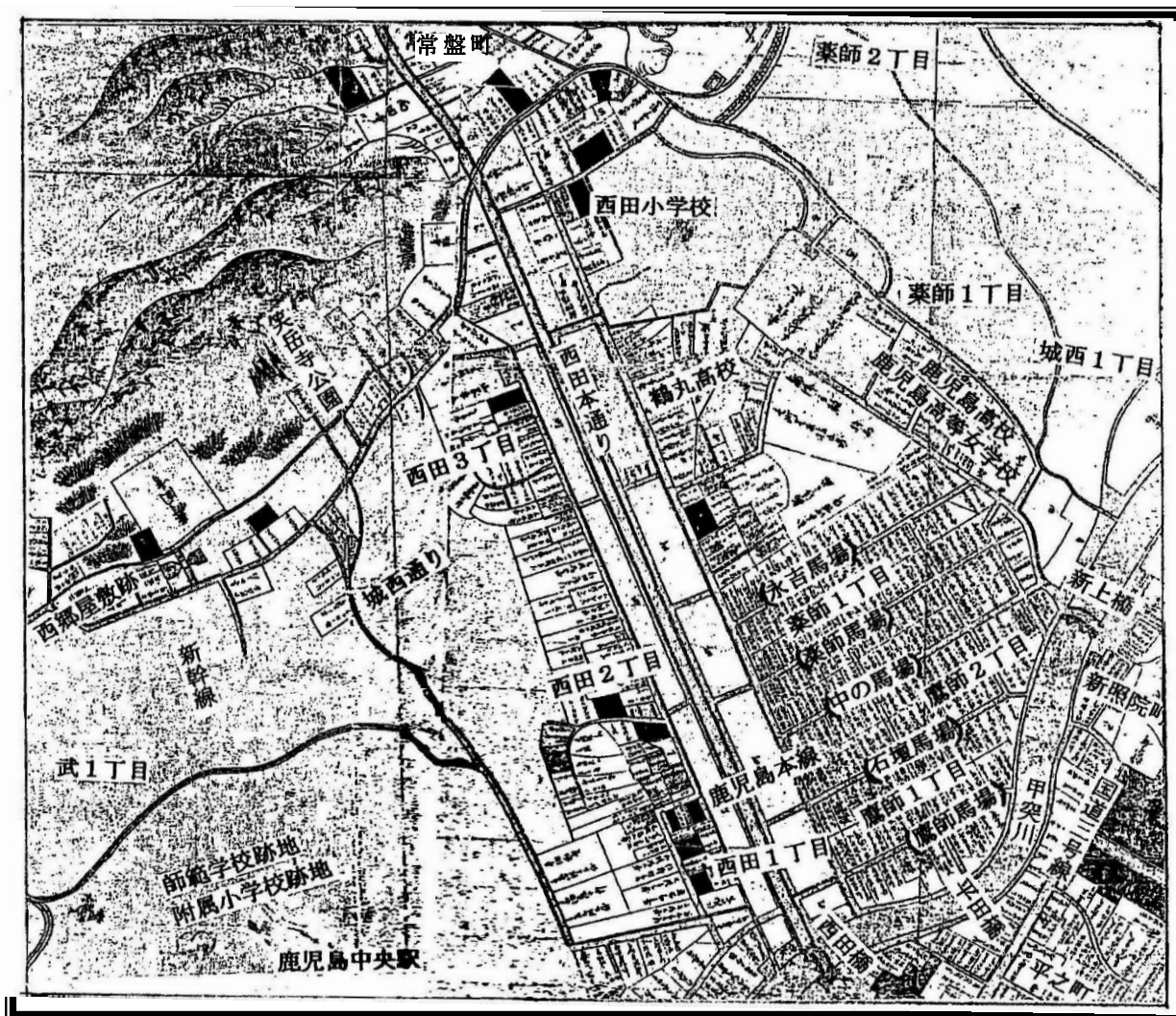
この町は薬師町と同じく、明治 32 年 1 月 9 日の町名改正により「鷹師馬場」を「鷹師町」と改名された。この地の古老の話では、このあたりは江戸時代、50 石から 100 石くらいの禄をもらっていた「鷹師匠」が住んでいたから「鷹師町」の名が生まれたといわれ、また昔この付近は伝統的に獄丁(監察)警官が多いところだったそうである。

また、別の説によると、「この土地は高いところであるが、甲突川の水が氾濫するところあたりに高州ができた。この高州が鷹師になまったのだ」という。町の名称の生まれた理由に二つの説がある。一つはそこに住んでいた人々の職業から生まれたものと、もう一つは土地の形から生まれたものであるが、いずれが正説かは不明である。

江戸時代後期の地図で見ると地方の郷士でお城勤めになった武士たちが住んでいたようである。

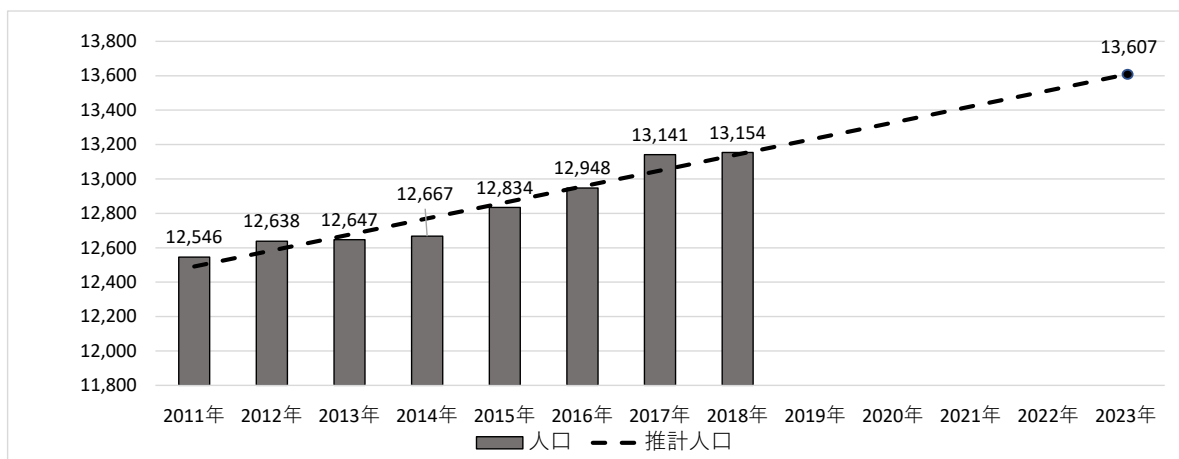
## 幕末激動の時代を迎えようとしているころの西田地区

(西田校区 郷土史誌より)



- \* 平成時代と比べるために、町名や施設等を書き入れた地図
- \* 幕末のころの通りや家並みの様子を知ることができる。
- \* 旧薩摩藩御城下地図をもとに作成された薩摩城下絵図散歩を編集したものである。

## 4 校区人口の推移



西田校区の人口推移をみると、2013年(平成25年)以降微増している。

これは、2011年の新幹線の全線開通や中央駅西口地域の整備が進んでいること、校区内においてもマンション等の建設が進んでいることも大きな要因と推察される。

今後も人口増の傾向は続くと思われ、この傾向で推計すると2023年は13607人と予測される。

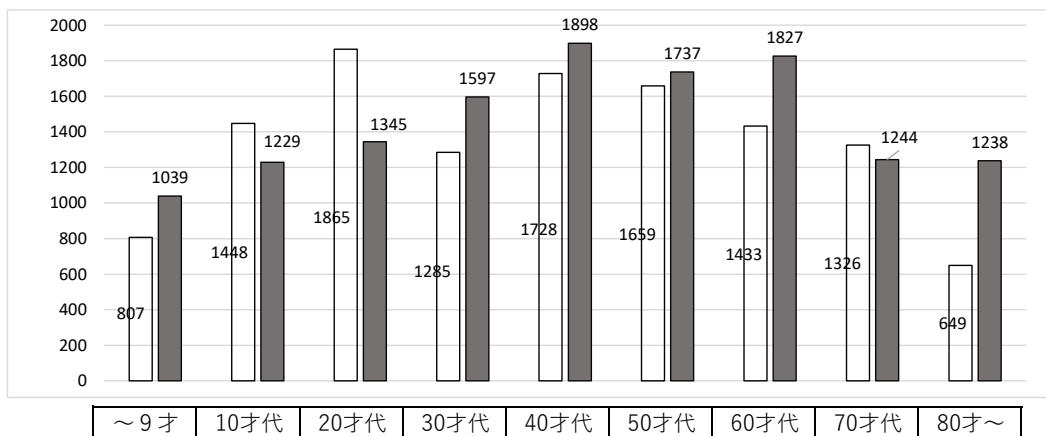
( $Y=93 \times N + 11468$  : 2011年～2018年のデータで推計 2011年をN=11とする)

### \* 少子高齢化はまちづくりを進めるうえで、把握すべき重要な要因であるので、校区の状況を分析する。

高齢化の傾向をみると、70才以上は2000年が1,975名、2018年が2,482名で507名、約26%の増となっている。特に80才以上は、約91%の増加になっている。

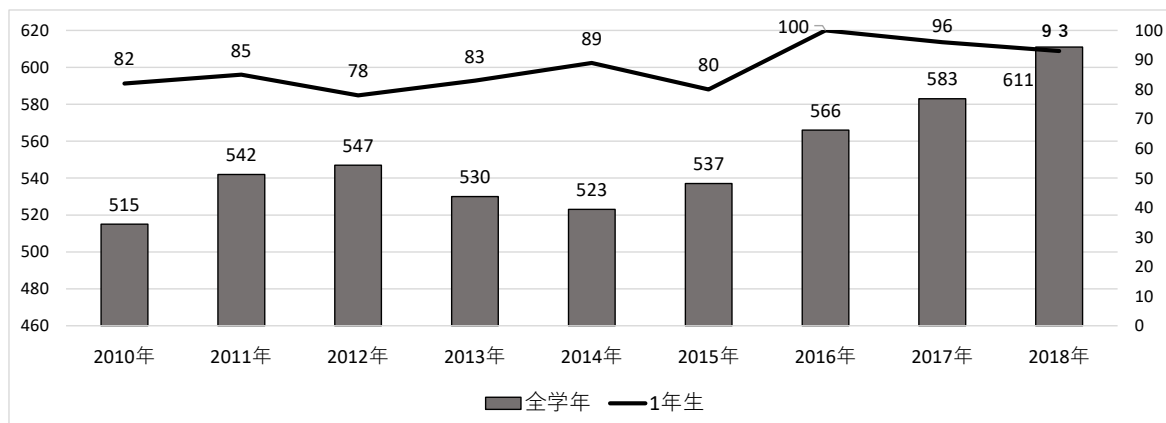
また、10才未満も232名の増となっている。

西田校区の年齢構成比較 (□H 12(2000), ■H 30(2018))



### 西田小児童数の推移

2014年以降、児童数は増加しており、将来のまちづくりにとって明るい材料となっている。





## 5 各町内会の概要及び行事等

### (1) 常盤町町内会

#### ア 町内会の概要

常盤は旧西田村(今の西田町)から明治44年(1911年)に分離され常盤町になり、平成19年に住居表示変更で常盤一丁目、常盤二丁目、一部常盤町に区分され現在に至る。常盤町町内会は、昭和30年代から組織化され、体制も確立したと推測しているが、正式に記録として残っているのは昭和40年からである。

常盤は、西田校区内でも唯一、三方を山で囲まれた緑の多い町であり、歴史書を見ると、お寺が沢山あり史蹟(番屋、日枝神社、桃が岡等)も数多く残っている。

この様に歴史と寺領(僧侶による躰教育を受けられる環境にあった)制度の恩恵が脈々と受け継がれている町である。

平成30年4月現在の人口は2,792人、世帯数は1,336世帯であり、町内会加入世帯は810世帯で加入率は61%となっている。高齢化率は29%と西田校区の中では一番高いが、最近では若い世代の方が転入し子どもたちも多くなっている。

お陰さまで、世代を通して住民意識は融合しており、団結の絆は強いと感じられる町である。そして、明るく元気で前向きなまちづくりを目指しているのが常盤町町内会である。

#### イ 主な活動

通年行事	毎月 福祉推進の日(年10回) お達者クラブ(遊友会) お達者クラブ(ふれあい食事会(年12回) 朝の挨拶運動(年11回) 隔月 まち美化清掃の日(奇数月) ゴミステーション美化活動(偶数月) 3か月に1回 簡単料理教室
4月	新入学生お祝い会(小学1年生、中学1年生)
7月	六月灯(日枝神社) ラジオ体操
8月	ラジオ体操 クリーンシティかごしま一斉清掃(幹線道路雑草刈)
9月	敬老謝恩会 全国社会奉仕会 十五夜綱引(3町合同)
11月	おはら祭り(第2回より連続出場)
12月	子どもクリスマス会 年末(3日間)防犯パトロール 自主防災訓練
3月	新区長・班長研修会

#### ウ 課題

- 狭小な地形に一車線の幹線道路が通るため、通行に危険を感じる住民が多い。通行者の安全確保の観点から「ゾーン30、歩道・車道・側溝の一体化整備」を要望する。
- 平成30年10月から導入の「乗り合いタクシー(コミュニティ交通)」の住民の外出機会の頻繁化促進の観点から、住民意識の共有化を図る。
- 公民館の使用率は向上しているが、参加者が固定化してきている。ニーズの見直しや「世話役」の確保を図る。
- 町内会役員の手づくりをスムーズに行えるよう、輪番制を検討する。  
(事務並びに事業の簡素化もセット)

## (2) 西田文化協会

### ア 町内会の概要

西田町は、昭和 26 年 5 月 27 日、それまで西田町南区、西田町北区と分立していた町の全てを、「西田町福祉協会」として統合し、新設町内会を誕生させた。

その後、昭和 31 年 1 月 1 日に「社団法人・西田文化協会」に組織変更、さらに、平成 25 年 2 月 27 日に「認可地縁団体・西田文化協会」に組織変更、並びに名称を改め、地方自治法法人となった。

平成 30 年 4 月現在、区域の人口は 5,321 人、世帯数は 3,128 世帯で町内会加入率は 46%となっている。

### イ 主な活動

通年行事	毎月 原則 8 日：支部長会 ， 原則 26 日：役員会（いずれも平日設定） 第 3 水曜日：町内パトロール 第 1 日曜日：ちびっこ公園， ゴミステーション清掃 毎月 1 回：愛のふれあい会食 ， 4 回：よかよか体操
4 月	定期総会 定例代議員会 監査
5 月	新支部長 班長事務連絡会 一家一鉢運動
6 月	会報発行
7 月	定例代議員会 防犯研修会 フラワーアレンジ教室 ラジオ体操
8 月	西田ふるさと夏祭り 一家一鉢運動 ものづくり教室 ラジオ体操
9 月	敬老会 会報発行 三町合同十五夜綱引き大会
10 月	上半期監査 定例代議員会 校区民大運動会参加
11 月	秋季親睦旅行 おはら祭り参加 一家一鉢運動
12 月	クリスマスリース教室 家族グラウンドゴルフ大会 防犯・防火呼びかけパトロール 年末警戒広報
1 月	年始会 会報発行 防災訓練
2 月	防犯講習会 新成人への記念品贈呈
3 月	定例代議員会 新 1 年生を迎える会 消火・救急処置法講習会

### ウ 課題

- マンションがこれからも建設されると思われる。新しい住民の方々が町内会に入会していただけるよう町内会加入運動をしていきたい。また、ゴミがこれからも多く発生すると思われるので、ゴミの減量化に取り組むたい。

### (3) 薬師一丁目町内会

#### ア 町内会の概要

昭和 37 年(1962 年)11 月, 行政区画変更に伴い, 薬師町 1 区, 2 区, 3 区で協議した結果, 三町内会に分割することが決定し, 昭和 38 年 4 月から薬師一丁目町内会として発足した。

※ 地方自治法第 260 条の 2 第 1 項の規定により平成 7 年 9 月薬師一丁目を下記のように整備。

組	番地	世帯数	町内会加入世数	加入率
		平成30年4月現在		
第1区	薬師一丁目1番地～5番地		85	50%
第2区	薬師一丁目7番地～13番地		79	
第3区	薬師一丁目 14 番地～22 番地		83	
第4区	薬師一丁目1番地～5番地		95	
合計		678	342	

#### イ 主な活動

通年行事	あいさつ運動……毎月第3金曜日 ふれあい会食……毎月第3火曜日(登録者) 音楽レクリエーション……毎月第1・第3土曜日
4月	総会
5月	1年生を迎える会 ゴミゼロの日
7月	子どもみこし町内巡回 三町(薬師一丁目・二丁目・城西一丁目)合同夏祭り ラジオ体操
8月	ラジオ体操 学習会～希望者を募り, 週 1 回公民館で実施～
9月	敬老会
11月	研修旅行(老人クラブと共催)
1月	新年会 新成人への記念品贈呈
3月	6年生を送る会

#### ウ 課題

- 町内会加入率の低下
- 行事への参加率の低下
- 役員の高齢化
- 掲示板の設置……現在ゼロ(他町内会は3～6箇所に設置されている。)
- ゴミステーションの管理

## (4) 薬師二丁目町内会

### ア 町内会の概要

薬師二丁目町内会は、昭和37年(1962年)11月、行政区画変更に伴い、薬師町一区、二区、三区で協議した結果、三町内会に分割することが決定し、昭和38年4月から薬師二丁目町内会として発足した。

また、平成27年(2015年)11月の住居表示変更により、原良四丁目の一部が薬師二丁目となり現在に至っている。

平成30年4月現在、地域の人口は2,064人、世帯数は971世帯で、町内会加入世帯は625世帯、加入率は64%となっている。

町内には伝統ある西田小学校(明治8年[1875年]創立)、鶴丸高校(明治27年[1894年]創立)があり、幹線沿いに個人商店がある外は、大部分が一戸建ての住居地域であったが、平成27年には区画整理がほぼ完成したことから新たな居住者も増え、また、マンションも増加していることから、町内会加入への取組が課題となっている。

### イ 主な活動

通年行事	毎月 第2日曜日 薬師公園及び歩道植樹帯清掃・除草 毎月 水曜日 よかよか体操 毎月 第1・第3水曜日:夜間パトロール 第2土曜日:朝パトロール 毎月 第2木曜日 お達者クラブ 毎月 第4火曜日 ふれあい会食 年4回程度 ゴミステーション美化活動
5月	ゴミゼロの日 ～薬師公園及び町内空き缶等拾い～
7月	子ども神輿・夏祭り(三町合同) ラジオ体操
8月	クリーンシティかごしま(薬師公園清掃及び町内空き缶拾い) ラジオ体操
9月	敬老会 十五夜綱引き(三町合同) 全国社会奉仕の日
1月	新成人への記念品贈呈
3月	町内研修会(子どもと高齢者の交流会を兼ねる) 新1年生を迎える会・6年生を送る会

### ウ 課題

- マンション等の増加による町内会加入率の低下に対する、会員増加への取組
- 土地利用変化(新築や駐車場等への変化)によるゴミステーションの移設希望への対応
- ゴミ捨てマナーの向上
- 住民のニーズに対応した町内会行事内容の見直し(参加者が固定化している)



## (5) 鷹師町町会

### ア 町内会の概要

鷹師一丁目及び二丁目を設置されており、全域で住居表示を実施している。  
人口・世帯数などは下表のとおり(住民基本台帳 平成 30 年 4 月 1 日現在)

	男性	女性	総数	世帯数	町内会 加入世帯	加入率
一丁目	143	183	326	201	250	49%
二丁目	227	304	531	307		

### [歴史]

明治初期より鹿児島府下鷹師馬場町と称し、1889 年(明治 22 年)に市制が施行されて鹿児島市鷹師馬場町となり、1899 年(明治 32 年)には鷹師町に改称した。

1970 年(昭和 45 年)に一部が鷹師一丁目となり、1976 年(昭和 51 年)に残余部が鷹師二丁目・城西一丁目～三丁目・薬師一丁目及び二丁目分割された。

最初の鷹師町はとても広がっていたらしい。

### イ 主な行事

4月	新1年生を迎える会・6年生を送る会
5月	定期総会の開催
6月	役員会の実施
7月	夏祭り・子ども神輿 ラジオ体操
8月	「クリーンシティかごしま」に合わせた町内一斉清掃 ラジオ体操
9月	町主催敬老会の実施 役員会の実施
10月	校区民大運動会への参加
11月	役員会の実施
12月	町内一斉清掃 年末夜間パトロール
1月	役員会の実施 成人式記念品贈呈
2月	特になし
3月	役員会の実施

### ウ 課題

- 町内会加入率の低さによる慢性的な資金不足
- 役員後継者不足
- ゴミステーションのマナーの低下(1か所だけ)
- 行事参加者の減少, 固定化
- 他地域からのペット散歩者の糞の放置

## (6) 城西一丁目町内会

### ア 町内会の概要

城西一丁目は、昔から平穏な住宅街として親しまれ、平成5年の8・6水害以外では大きな災害も発生せず、安心して安全な地域として栄えてきた。昨今は、文教地区でもあり、JR中央駅にも近くて便利ということで若い家族も増え、世代交代が進んでいる。

平成30年4月現在では、世帯数518戸、総人口959人となっており、5年前の世帯数437戸、総人口816人と比較すると、伸長率が118%と大きく変動してきた。

中でも、20歳未満の子どもたち(18%)、20歳～40歳の層(25%)が増えているのが特徴であり、一方、70歳以上の高齢者(17%)が同様に大きなウェイトを占めていることも挙げられる。

なお、町内会加入世帯数は270世帯で、加入率は52%となっている。

### イ 主な活動

4月	定期総会
5月	新1年生を迎える会 一斉清掃活動(ゴミゼロの日)
6月	日赤募金活動
7月	旧薬師町三町合同夏祭り(城西公園)・子ども神輿 校区ふれあい交流大会(西田小体育館) ラジオ体操
8月	介護講習会 ラジオ体操
9月	敬老会
10月	校区民大運動会(西田小運動場)
11月	新成人該当者調査 ボランティア講座
12月	年末防犯パトロール
2月	校区文化祭(西田小体育館) 緑の募金運動
3月	6年生を送る会

### ウ 課題

- 参加者が増えるイベントの提案
- 子どもたちと高齢者の交流会開催
- 役員の世界交代
- 集会場問題(公民館がない)
- 週1回の夜間パトロールの復活
- ゴミステーションの監視

## Ⅲ 各部の活動分析と課題

### 1 総務広報部会

#### 【現 状】

- 広報誌「協議会だより」を年3回、各戸（約4000枚）に配布している。
- インターネットの普及を踏まえ、「ホームページ」等の開設を計画している。

#### 【課 題】

- 各部会の活動状況や校区の状況を知らせるため、「協議会だより」を発行するとともに「ホームページ」等の開設を計画しているが、より校区民の理解や関心が深められるよう、掲載内容、伝達方法等を検討する必要がある。

### 2 環境安心部会

#### 【現 状】

- 年末防犯パトロールにおいて、各町内会パトの持ち回り見学を実施している。
- 平成29年度は、城西消防分団の協力により、消火放水訓練を実施した。平成30年度は、避難所訓練のための6町の防災担当者勉強会を実施した。
- 生ゴミ、カラス、猫対策として、ゴミステーションの立哨活動を、各町の設定日に実施している。
- 幟旗の設置や掲示板のポスター掲示、暴力追放運動等により、所轄西警察署と連携し、犯罪予防環境づくりに取り組んでいる。
- 朝のあいさつ・声かけ運動を、青少年育成部会と連携して、毎月第3金曜日に実施している。
- 「中学生以下の交通事故減少」に向けて、自転車の安全で適正な利用の啓発活動を、夏休み期間中に実施した。

#### 【課 題】

- 防犯パトロールの実施方法について、少人数でも実施可能な改善策を検討する。
- 城西消防分団の定員が不足しているので、色々な機会をとらえて募集への協力が必要である。
- 校区内指定避難場所への誘導にあたり、優先順位等の条件について整理する必要がある。
- 防犯灯を民間地内に設置している箇所が多数あり、家の建て替え、売地等による支障移設が増えることが予想される。
- 交通事故防止活動の効果の有無について確認する機会がないので、ヘルメット着用や安全運転等の聞き取り調査を行う場を検討する。
- ゴミ出しマナーについての周知徹底を図る必要がある。

### 3 社会体育部会

#### 【現 状】

- 各町内会の年少者から高齢者までが参加する「校区民大運動会」を、毎年10月に開催し、親睦を図っている。
- 社会人体育大会では、グラウンドゴルフやソフトボールなど5種目を実施しているが、参加者の減少により、平成30年度は休止した。

### 【課 題】

- 校区民大運動会については、選手選出も難しいことや競技内容が陳腐化しているため、プログラムの改善や時間短縮などを行ってきたが、より参加しやすい大会にするために、更なる改善が必要である。
- 校区民の健康保持・増進を目的とし、校区民対象の体力測定の実施を検討する。

## 4 地域福祉部会

### 【現 状】

- 子育ての情報交換の場として、毎月第2火曜日に（年10回）、「子育てサロン」を城西福祉館で開催し、毎回約20～50家族が参加している。
- 6月に、「ふれあい交流大会」を校区社会福祉協議会と共催で実施し、ゲームや演芸発表会を通して、約200人の高齢者の交流を図っている。
- 7月に、「西田校区の地域福祉について語る会」を、校区社会福祉協議会と共催で開催している。校区の各種団体の長に出席を依頼し、地域福祉の課題から設定したテーマについて語り合い、地域福祉の推進に努めている。
- 身近な家族等への介護の仕方について、実技体験を通じた講習会を、校区社会福祉協議会と連携し、8月に実施している。（約50人参加）
- 地域福祉に係る事業の活動状況・組織・活動予定等、地域のまちづくりの様子を地域住民に知らせるために、「にしだのひろば」を年1回（3月）に発行している。
- 各町内会で開催する「敬老会」に、校区社会福祉協議会役員や民生委員・児童委員が参加し、支援を行っている。

### 【課 題】

- 子育てやしつけについての悩みを解決したいという声はあるが、子育てサロンの認知度は低い。（アンケート結果では、18%が認知。）
- アンケートによると、高齢者を支援する活動が必要とする回答は多いが、交流大会の認知度は、70歳以上の女性は34%だが、全体的には18%と低い。
- 市の出前講座等を活用するなど、相談活動の充実を図ってはいるが、自分と家族の健康・老後・子育て・地域の人々との人間関係に悩みを抱えている地域住民が多い。
- 日頃の悩みや不安として、「自分の家族の健康・病気」や「老後の生活」を挙げる回答が多いことから、町内会持ち回りで開催している「介護講習会」の一層の充実を図る必要がある。
- 地域福祉に関する実施事業についての認知度の低さをみると、広報手段の一つとして、広報誌「にしだのひろば」を充実していく必要がある。
- 各町内会での敬老会開催は、会場確保や会場までの移動等の関係で難しいところがある。

## 5 青少年育成部会

### 【現 状】

- 青少年健全育成大会を、毎年5月第3土曜日に、青少年の健全育成をテーマに、講演会方式で実施している。
- 「朝のあいさつ・声かけ運動」を、毎月第3金曜日7：30～8：00に、町内会青少年部（あいご部）をはじめ、関係団体や有志で実施している。
- 夜間・街頭補導を、西警察署補導員と連携し、夏休みを中心に実施している。
- 環境点検・調査では、危険箇所やたまり場の点検を冬休みを中心に行っている。
- 校区あいご会等と連携し、各行事を通して子どもの自主・自律支援を図っている。



### 【課 題】

- 青少年健全育成大会の開催にあたっては、「青少年健全育成」のテーマにふさわしい講師の選定と確保が課題である。
- 「朝のあいさつ・声かけ運動」は、町ごとに関係者の善意で運営されており、関係団体等における年度ごとの確実な引き継ぎが必要である。
- 補導に関する警察関係者、小中学校関係者との連携や情報共有を図る場を設定する。
- 引き続き、校区あいご会等と連携するとともに、「鹿児島市民全員があいご会員」であることの周知・啓発について工夫する必要がある。

## 6 文化部

### 【現 状】

- 成人学級・女性学級は、学級長をはじめ役員が中心となって、様々な講座を企画・運営している。
- 郷土史学習会（もっと知ろうよ郷土の歴史）では、年1回、講師を迎えて、郷土の歴史について学習している。
- 校区文化祭は、町内会・女性学級・小学校・幼稚園等が、様々な演目を舞台発表したり、作品を展示発表したりしている。

### 【課 題】

- 成人学級・女性学級等の社会学級は、新しい学級生の確保が課題である。特に、若い世代に参加を促すとともに、講座の企画・運営も担えるように働きかける必要がある。
- 歴史学習においては、たくさんの人に興味をもってもらえる企画を考案する必要がある。

## IV 西田校区まちづくりの目標

### □ まちづくりの目標(スローガン)

「みんなが協力 温もりと安心の 文化薫るまち 西田」

- 1 長い歴史を持ち、多くの貴重な史跡も点在し、教育環境にも恵まれた「西田のまち」を住民が協力して後世につなげていく。
- 2 みんなが協力して創るまちづくりを基本に、伝統行事や社会活動(防犯・防災、環境美化、福祉活動)、生活を豊かにする活動(健康、趣味、文化)等を充実させ、さらに住みよいまちづくりをめざす。
- 3 お互い助け合い、支え合い、心豊かなまち、安心安全なまち西田をめざす。

### □ 課題への取組

- 1 あらゆる機会をとらえて住民ニーズの把握に努めるとともに、情報発信の場として、広報誌の発行やホームページ等を開設する。
- 2 子どもや高齢者の交通安全・事故防止、防犯・防災への意識啓発や訓練等に取り組む。
- 3 ゴミステーション美化活動、ゴミ分別などの環境問題に取り組む。
- 4 住民の健康づくり等のイベントに取り組む。
- 5 「小・中学生への声かけ」・「子育て家庭への支援」・「高齢者の生きがいづくり」などのふれあいや手助け活動に取り組む。
- 6 高齢者や障がいのある人、災害弱者等の支援対策に取り組む。
- 7 学校・PTA・あいご会・地域・行政がお互い協力して交流を深める。
- 8 さまざまな知識や技術を学ぶ場として、社会教育講座等の開設に取り組む。

# V 活動の体系表

		基本方針	活動の内容	主な事業名
みんなが協力 温もりと安心の 文化薫るまち 西田	総務広報部会	地域の課題、住民のニーズを把握して、対応策を検討し、プランを策定するとともに、協議会活動全般の広報を行う。	○協議会の活動状況を知らせる広報活動  ○まちづくり協議会の総括	・協議会だよりの発行 ・ホームページ等の開設  ・まちづくり協議会の運営
	環境安心部会	命と環境を大切にして、住民の「目線」で住みよい環境づくりと治安維持の両面から課題を探し、対策を提案し、かつ具体化を行い、「安心・安全」な地域環境づくりを目指す。	○防犯・防災活動  ○環境美化活動  ○交通事故防止活動	・防犯パトロール ・校区防火・防災訓練 ・「犯罪予防環境」づくり ・避難所訓練  ・ゴミステーションのマナー啓発・立哨活動 ・交通事故防止運動 (中学生以下及び高齢者等)
	社会体育部会	住民の健康づくりを支援するとともに、住民こぞって楽しむ機会を作るなどして、融和と親睦を図る。	○校区民が集い、地域の親睦を図る活動 ○健康の保持・増進を図る活動	・校区民大運動会  ・校区民体力測定
	地域福祉部会	住民が共に助け合い協力し、高齢者・障がいのある人・年少者等を大事にし、潤いと温もりのある地域づくりに努める。	○広報活動 ○高齢者・障がいのある人・年少者等とのふれあい活動  ○福祉活動に関する研修会	・「にしだのひろば」発行 ・子育てサロン ・ふれあい交流大会  ・介護講習会 ・西田校区の地域福祉について語る会
	青少年育成部会	心豊かで健やかな青少年を育てるために、各種団体と連携し、地域行事やあいご会活動などをおして、地域ぐるみで青少年を育てる気風の醸成や環境浄化に努める。	○青少年育成活動 (子どもの自主・自律支援)  ○郷土の文化・歴史学習活動  ○環境点検活動	・青少年健全育成大会 ・朝のあいさつ・声かけ運動 ・校区あいご会等との連携 あいご健康教室 ファミリー歩こう会など ・セゴドンのエンコ ・校区あいご会等との連携 鬼火たき・かるた大会など ・町内会との連携 十五夜綱引き・夏祭りなど ・自彊学舎との連携 妙円寺参りなど ・夜間・街頭補導 ・環境点検・調査
	文化部会	郷土の豊かな歴史への理解を深めるとともに、地域文化の振興に努め、住民が共に楽しく学ぶ生涯学習を推進する。	○生涯学習支援活動  ○学習成果の発表活動 ○地域の歴史学習活動	・校区成人学級 ・校区女性学級 ・校区文化祭 ・郷土史学習会

VI 西田校区まちづくりプラン(地域振興計画)【2019～2023】(令和元年～5年:5年間)】

実施 部会	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規 継続	関連部会 ・団体等
				元	2	3	4	5		
総務広報部会	1 広報誌「協議会だより」 の発行	年3回発行 町内会に依頼し、各戸に配布する。 (約4000枚)	各部会の活動状況、校区の状況に関心を 持つことで協議会の運営への理解を深める とともに、校区民の地域づくりへの参加促進 が図られる。	○	○	○	○	○	継続	
	2 ホームページの開設	インターネットの普及を踏まえ、掲載内容 や更新の頻度を検討し、ホームページ等の 開設を進める。	ネットを活用することによって、若い世代へ のアプリールや随時の情報提供が期待でき る。	◎	○	○	○	○	新規	
	3 まちづくり協議会の運営	まちづくり協議会総会や役員会を開催す る。	まちづくり協議会の運営を総括することに よって、各部会や関係団体との連携・調整を 図ることができる。	○	○	○	○	○	継続	
環境安心部会	4 防犯パトロール (毎月・年末等)	各町内会で、毎月又は年末等に、見回り 活動として防犯パトロールを行う。	町内に発生する犯罪等を防ぐとともに、自 己防衛の機運が高まる。	○	○	○	○	○	継続	警察
	5 校区防火・防災訓練	地域の消防分団等と協力し、消火・放水 訓練等を行う。	防火・防災の知識を得るとともに、災害時 の協力体制を確認できる。	○	○	○	○	○	継続	消防
	6 避難所訓練	台風接近時等における避難所及び避難 方法等について、各町の防災担当者を対 象に、勉強会を実施する。	校区内指定避難所への誘導優先順位等 について確認できる。 広域の災害に対応する避難行動の備えが できる。	◎	○	○	○	○	継続	警察・消防
	7 環境美化活動	生ゴミ・カラス・猫対策を校区共有課題と して、ゴミの分別や指定日の周知を図るチ ランを配布するとともにゴミステーションの 立哨活動を行う。(4か月毎に実施)	ゴミ出しマナーについて周知を図り、ゴミス テーションの衛生管理ができ、きれいな町づ くりにつながる。	○	○	○	○	○	継続	衛生連合会
	8 「犯罪予防環境」づくり	犯罪予防環境づくりのために、西警察署 と連携し、幟旗設置や掲示板のポスター掲 示、暴力追放運動等を行う。	犯罪が起らない環境づくりを行うことによ り、安心・安全なまちづくりが期待できる。	○	○	○	○	○	継続	

VI 西田校区まちづくりプラン(地域振興計画)【2019～2023】(令和元年～5年:5年間)

実施 部会	No	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規 継続	関連部会 ・団体等	
					元	2	3	4	5			
環境 安心部会	9	交通事故防止運動	中学生以下及び高齢者の交通事故減少に向けて、自転車等の安全で適正な利用を中心に、啓発活動を夏休み期間中に実施する。	交通事故防止の啓発活動を実施することによって、交通事故防止の意識を高めるとともに、交通事故の減少が期待できる。	○	○	○	○	○	○	継続	
	10	校区民大運動会	各町内の年少者から高齢者までが参加し、伝統競技や新競技をとおして運動を楽しむ。	校区民が一堂に会して、様々な競技を楽しむことを通して、町内会同士、町民同士の親睦を図ることができる。	○	○	○	○	○	○	継続	
社会体育部会	11	校区民体力測定	数種類の体力測定を行いそれを基に各個人の体力年齢を知らせる。	個人の体力づくり・健康づくりに関する意識を高めるとともに健康なまちづくりが期待できる。	◎	○	○	○	○	○	新規	
	12	社会人体育大会	昨年まで、グラウンドゴルフ、ソフトボールなど5種目を実施していたが、参加者募集に苦慮していることから今年度は休止した。		×						休止	
地域福祉部会	13	「子育てサロン」 (校区社会福祉協議会への 後援)	「子育て」の実際、情報交換の場として、毎月第2火曜日に(年10回)城西福祉館で開催。親子体操やクリスマス会、人形劇など親子で楽しむ。	子育てやしつけについての悩みを抱える母親等に対して、相談や情報交換の場を設定することにより、子育てしやすい環境づくりができる。	○	○	○	○	○	○	継続	

VI 西田校区まちづくりプラン(地域振興計画)【2019～2023】(令和元年～5年:5年間)

実施 部会	No	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規 継続	関連部会 ・団体等	
					元	2	3	4	5			
地域福祉部会	14	「ふれあい交流大会」 (校区社会福祉協議会との共 催)	ゲーム、演芸発表等を通じて、高齢者の 交流を図る。(6月実施)	高齢者の健康・体力の維持や生きがいづ くりができる。	○	○	○	○	○	○	○	
	15	「西田校区の地域福祉につ いて語る会」 (校区社会福祉協議会との共 催)	校区の各種団体の長に出席を依頼し、地 域の課題から設定したテーマについて語り 合い、福祉の推進に努める。 (7月実施)	地域福祉に関する課題が明確になるとも に、講話・協議等を通して課題解決に向け ての方策を得て校区一体となった取り組み ができる。	○	○	○	○	○	○		
	16	介護講習会 (校区社会福祉協議会への 後援)	身近な家族等への介護の仕方について 実技体験等を通じた講習会を市の福祉協 議会と連携し実施する。(8月実施)	地域住民の身近な家族等の介護に係る知 識、実践力を高めることで、不安の軽減を図 ることができる。	○	○	○	○	○	○		
	17	「にだのひろば」発行 (校区社会福祉協議会への 後援)	年1回(3月)発行。地域福祉に係る事業 の活動状況、組織、活動予定等地域まち づくりの様子を地域住民に広く知らせる。 (赤い羽根共同募金の助成を受けて3800 部発行)	社会福祉に関する情報を共有するととも に、地域住民の社会福祉への理解と協力を 得ることができる。	○	○	○	○	○	○		



VI 西田校区まちづくりプラン(地域振興計画)【2019～2023】(令和元年～5年:5年間)

実施 部会	No	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規 継続		
					元	2	3	4	5			
青少年育成部会	18	青少年健全育成大会	毎年、5月第3土曜日に青少年の健全育成をテーマに、講演会方式で実施する。	地域で青少年を育てる機運を高めることができる。また体験発表や有識者の講演等とおして多様な考えに触れる機会を得られる。	○	○	○	○	○	○	継続	
	19	朝のあいさつ・声かけ運動	登校時児童生徒への声かけ。 毎月第3金曜日、7:30～8:00に町内会青少年部(あいご部)をはじめ、関係団体や有志が、朝のあいさつや声かけをする。	地域で青少年を育てる機運を高めることができる。 (地域の大人と子どもとの声掛けにより地域の連帯意識が高まるとともに、あいさつが飛び交い元気なまちづくりができる。)	○	○	○	○	○	○	継続	
	20	夜間・街頭補導	西警察署補導員と連携し夏休み等を中心に実施する。	青少年指導や地域の浄化による子どもたちの健全育成が図られるとともに、補導に関する警察関係者、小中学校関係者との連携・情報の共有ができる。	○	○	○	○	○	○	継続	
	21	環境点検・調査	危険箇所、たまり場を点検・調査する。	危険箇所やたまり場を点検・調査し改善の取組を行うことにより、子どもたちの安心安全な生活を確保できる。	○	○	○	○	○	○	○	継続
	22	セゴドンのエンコ	市の年中行事。地域の子供と大人が一体となって西田小から南洲神社まで約8kmの道程をウォーキングする。	西郷隆盛ゆかりの地を歩くことをとおして、郷土の歴史や文化、また集団行動の決まりを学ぶことができる。	○	○	○	○	○	○	○	継続

VI 西田校区まちづくりプラン(地域振興計画)【2019～2023】(令和元年～5年:5年間)】

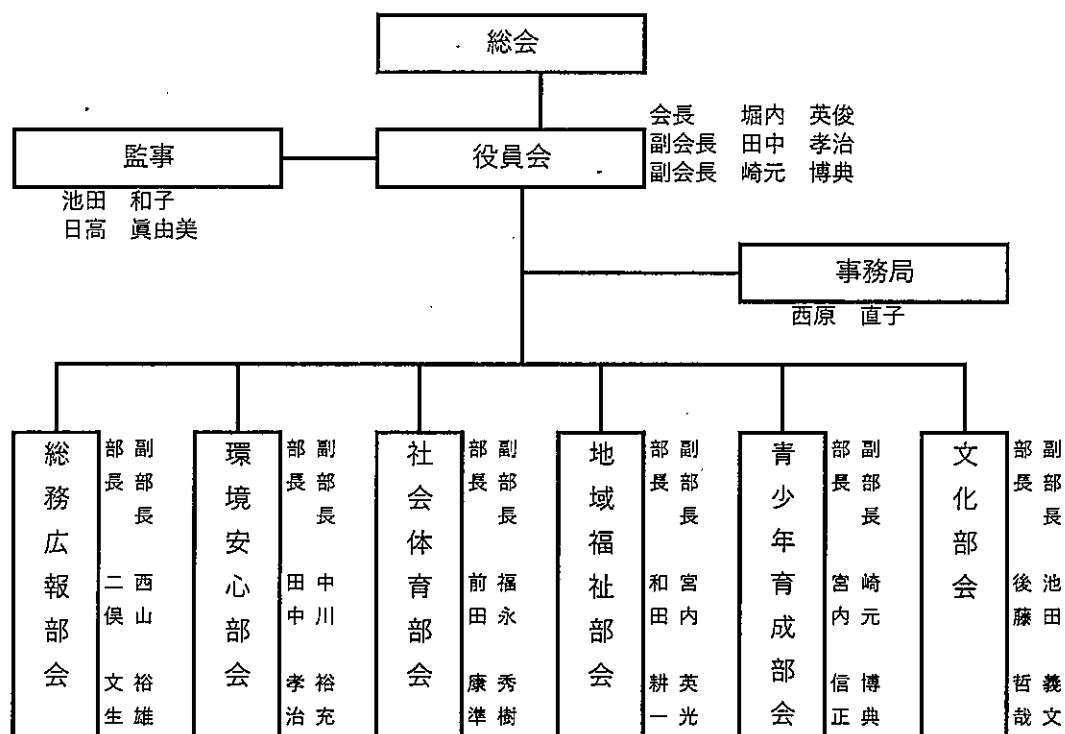
実施 部会	No	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規 継続	関連部会 ・団体等
					元	2	3	4	5		
青少年育成部会	23	校区あいご会, 西田小PTA, 西田小おやじの会等 との連携	あいご健康教室 西田小学校体育館で、子どもは遊び、大人はストレッチ運動等を行う。 新年度の子ども会役員の紹介を行う。	校区あいご会等との連携により、各行事とおしと、子どもの自主性を育て、自律を促すとともに、地域への愛着を深めることが期待できる。	○	○	○	○	○	○	校区あいご会 西田小PTA, 西田小おやじの会等
			つばめブロック大会 周辺10小学校区のあいご子ども会が一堂に会し、活動報告やスポーツ交歓会を行う。(各校区持ち回り:西田小開催は2027年予定)								
			ファミリー歩こう会 中央公園(テンパーク)などを目的地に設定し、親子でウォーキングを行う。目的地では、レクリエーションを実施する。								
			あいごかるた大会 児童が作成したオリジナルかるたによる大会を実施する。								
			あいごスポーツ交歓会 西田小体育館で、中学生が進行役を務めるニュースポーツ等とおした子ども会の交歓会。年間皆勤賞の表彰等も行う。								
			夏休みラジオ体操 単位あいご会(町内会)の運営で、早朝ラジオ体操を実施する。								
			竹取・門松づくり おやじの会とあいご会が協力して竹取を行い、おやじの会が西田小学校正門前の門松を製作する。								
			鬼火たき おやじの会とあいご会が協力して小学校校庭に樽を組み、新年の無病息災を祈って灯火するとともに周辺では餅を焼いて楽しく語らう伝統行事。								
			西田小バザー 西田小PTA・あいご会・おやじの会等が中心となつて、子ども遊び・飲食・無償提供品による販売のコーナー等を設け、バザーを実施する。								

VI 西田校区まちづくりプラン(地域振興計画)【2019～2023】(令和元年～5年:5年間)

実施 部会	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規 継続	関連部会 ・団体等	
				元	2	3	4	5			
青少年育成部会	24	町内会との連携	十五夜綱引き 常盤・西田・薬師二丁目の三町合同で、 綱引きを行う伝統行事。 夏祭り(六月灯)、子どもみこし 町内会を中心に、夏に行われる伝統 行事。	町内会等との連携により、各行事とおし て、子どもの自主性を育て自律を促すとも に、地域への愛着を深めることが期待でき る。	○	○	○	○	○	継続	
	25	自彊学舎との連携	妙円寺参りなど 鹿兒島の3大行事武者姿で伊集院の 妙円寺まで歩く妙円寺参りや加世田参 り、赤穂義士伝輪読会など伝統文化の 継承活動。 青少年育成活動 毎月1回親子で共通体験する親子チャ レンジ塾。自然体験、農業体験、工芸 体験など体験をとおして学ぶ活動。	明治12年創立以来続く、青少年育成 機関である自彊学舎との連携を図り、各 行事をとおして、子どもの自主性を育て 自律を促すとともに、地域への愛着を深 めることが期待できる。	◎	○	○	○	○	新規	自彊学舎
文化部会	26	校区成人学級	地域内の男女成人を対象に、学級長・役 員が中心となって、年10回程度の様々な 講座を企画・運営する。	一般的に教養や技能を修得するとともに、 生涯学び続けようとする機運や地域貢献の 高まりが期待できる。	○	○	○	○	○	継続	
	27	校区女性学級	地域内の成人女性を対象に、学級長・役 員が中心となって、年10回程度の様々な 講座等を企画・運営する。	一般的に教養や技能を習得するとともに、 生涯学び続けようとする機運や地域貢献の 高まりが期待できる。	○	○	○	○	○	継続	
	28	郷土史学習会 (もっと知ろうよ郷土の歴史)	近年は11月23日に西田小プレイルーム で、講師を迎えて「歴史講座」を開いてい る。(明治維新150年や地域の歴史の学習 を行う)	地域の歴史を知ること、地域愛の深まり が期待できる。	○	○	○	○	○	継続	
	29	校区文化祭	2月に町内会・女性学級・小学校・幼稚園 等による舞台発表や作品の展示発表を行 う。	1年間の学びを発表することとおし て、学ぶ喜びを得るとともに、地域住民 の生涯学習への興味・関心の高まりが期待 できる。	○	○	○	○	○	継続	

## VII 資料編

# 1 西田校区まちづくり協議会の組織体系図(氏名は平成30年度)



西田校区まちづくり協議会構成団体

平成31年4月1日現在

	構成団体名	代表者名		構成団体名	代表者名
1	常盛町内会		21	西田校区安心安全ネットワーク会議	
2	西田文化協会		22	西田校区老人クラブ連絡協議会	
3	薬師一丁目町内会		23	財団法人 自彊学舎	
4	薬師二丁目町内会		24	ゾウさんのはな通り会	
5	鷹師町町会		25	西田本通り会	
6	城西一丁目町内会		26	城西消防分団	
7	西田校区社会福祉協議会		27	西田小スポーツ推進員	
8	西田校区民生児童委員協議会		28	西田校区スポーツ推進員	
9	西田小学校		29	県立鶴丸高校	
10	城西中学校		30	私立鹿児島高校生徒指導部	
11	さみどり幼稚園		31	長寿あんしん相談センター城西	
12	西田校区あいご会		32	社会体育クラブ	
13	校区青少年健全育成実行委員会		33	郷土史研究家(維新ふるさと館)	
14	西田小学校PTA		34	豊平内科クリニック病院	
15	城西中学校西田地域PTA		35	鹿児島大学名誉教授	
16	西田校区成人学級		36	医療法人慈恵会土橋病院	
17	西田校区女性学級		37	鹿児島西田郵便局	
18	西田小おやじの会		38	鹿児島西消防署	
19	西田小スクールゾーン委員会		39	鹿児島西警察署生活安全課	
20	西田児童クラブ運営委員会		40		

## 2 西田校区まちづくりプラン策定の経緯

西田校区のまちづくりプランの策定は、当初総務広報部会が主体となり作業を実施したが、最終的な案の取りまとめにあたって、より迅速な各部間の調整が必要となったため、平成30年度第2回総務広報部会（9月20日開催）から各部の部会長、副部会長も含めて総務広報部会を開催し、プラン策定の作業を行った。

平成29年度

月	日	委員会名	作業内容
3	12	西田校区まちづくり協議会 設立大会	規約 (校区まちづくりプラン策定) 第3条 協議会は、校区の課題解決や特性を生かしたまちづくりを、みんなが連携協力して計画的に進めるために、校区まちづくりプラン(以下「プラン」という。)を策定する。
4	18	第1回役員会	
4	27	第1回総務広報部会	作業方針の確認
5	25	第2回役員会	上記の報告
7	10	第2回総務広報部会	アンケート調査項目・調査方法の検討
8	9	第3回役員会	上記の報告
7～8月		小中学生に対するアンケート調査	西田小6年生79名 城西中2年生(西田校区在住者)91名から回答
11月		住民アンケート調査	校区民312名から回答
10	11	第4回役員会	住民アンケート調査の確認
12	13	第5回役員会	住民アンケート調査結果概要報告
12	21	第3回総務広報部会	アンケート調査の集計・分析方針の検討
2	14	第6回役員会	上記の報告
2	15	第4回総務広報部会	アンケート調査の分析
3	16	第5回総務広報部会	アンケート分析結果の報告

平成30年度

月	日	委員会名	作業内容
4	11	第1回役員会	平成29年度の作業報告
5	20	平成30年度定期総会	平成29年度の作業報告及び平成30年度作業計画
6	13	第2回役員会	平成30年度作業計画
7	19	第1回総務広報部会	平成30年度の事業計画の確認及び各部への作業依頼項目の確認
8	22	第3回役員会	上記の報告
9	20	第2回総務広報部会	※ この回から、各部の部長、副部長も参加し部会を開催することになった。 まちづくりプラン案の検討
10	10	第4回役員会	上記の報告
11	12	第3回総務広報部会	まちづくりプラン案の検討
12	12	第5回役員会	上記の報告
12	21	第4回総務広報部会	まちづくりプラン案の検討
1	24	第5回総務広報部会	まちづくりプラン案の検討(素案の決定)
2	13	第6回役員会	上記の報告
2	27	第6回総務広報部会	製本に係る「プラン」の確認、印刷・配布について検討

### 3 西田校区のまちづくりに関する住民アンケート 調査結果

#### (1) アンケート調査の実施(平成29年)

##### 調査の趣旨と依頼文

西田校区まちづくり協議会アンケートについて(お願い)

今年3月「西田校区まちづくり協議会」(6町内会, 各種機関等38団体で構成)が設立されましたが、活動の指針として「まちづくりプラン」(校区振興計画)を策定することになりました。

このまちづくりプランには、皆様のご意見やニーズを反映させたものになりたいと考えており、アンケート調査を実施することに致しました。

御多忙中とは存じますが、趣旨等をご理解いただき、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

西田校区まちづくり協議会会長 堀内英俊

#### (2) 調査の方法及び調査票回収状況

##### 調査方法

調査は各町内会や通り会を通して抽出調査で行なった。

また、西田小学校6年生, 城西中学校2年生(西田校区在住者)を対象に調査を行なった。

##### 調査票の回収状況

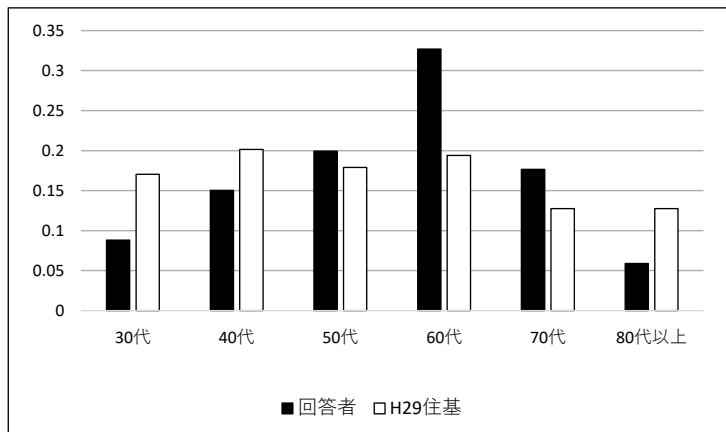
常盤	西田	薬師1	薬師2	城西1	鷹師	通り会	合計
53	100	30	58	27	22	22	312

西田小	城西中
79	91

\* 今回は、抽出調査であったので、年齢構成から検証した。(30代以上で比較)

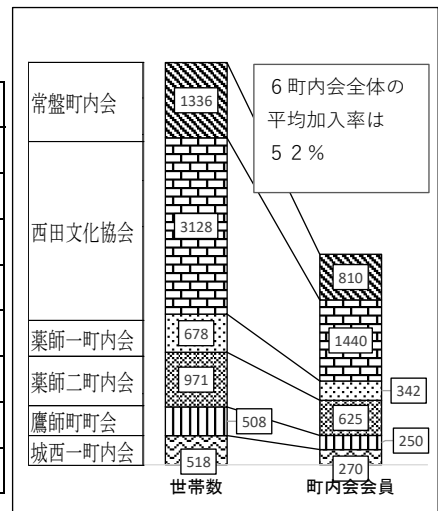
(抽出調査のため、住基台帳との年齢構成から、回答者の年齢構成のバラツキを検証)

	回答者		H29住基	
	人数	構成	人数	構成
30代	27	9%	1,629	17%
40代	46	15%	1,924	20%
50代	61	20%	1,711	18%
60代	100	33%	1,854	19%
70代	54	18%	1,218	13%
80代以上	18	6%	1,219	13%
合計	306	100%	9,555	100%



#### (3) 各町の人口及び町内会会員数

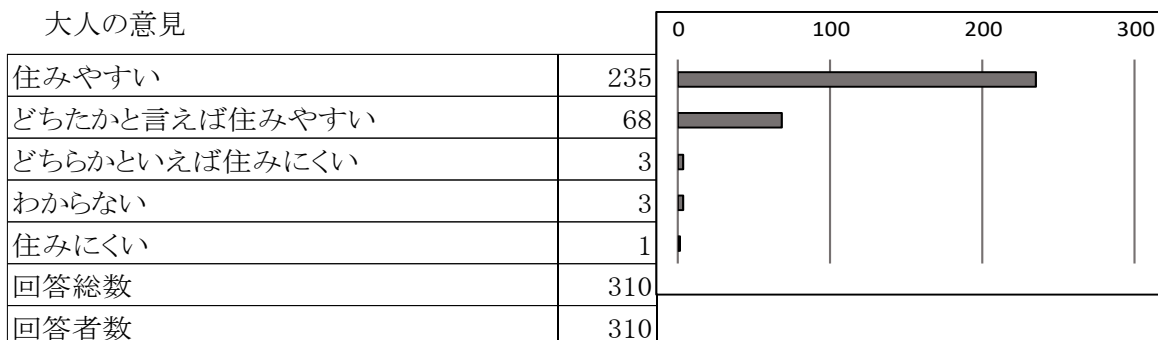
町内会名	区域	平成30年4月1日現在			
		人口	世帯数	町内会会員	加入率
常盤町内会	常盤一・二丁目, 常盤町	2,792	1,336	810	61%
西田文化協会	西田一・二・三丁目	5,321	3,128	1,440	46%
薬師一丁目町内会	薬師一丁目	1,161	678	342	50%
薬師二丁目町内会	薬師二丁目	2,064	971	625	64%
鷹師町町会	鷹師一・二丁目	857	508	250	49%
城西一丁目町内会	城西一丁目	959	518	270	52%
合計		13,154	7,139	3,737	52%



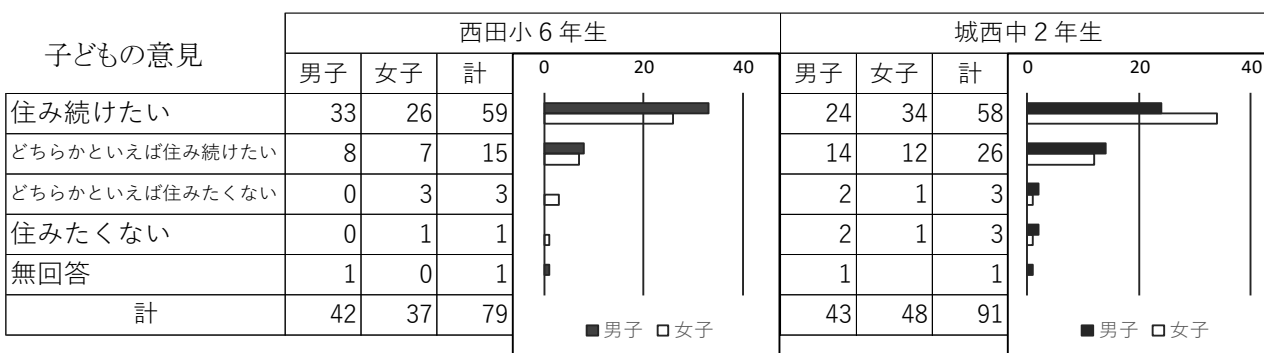
## □ 西田校区はどのようなまちですか。

### ☆ 西田校区は住みやすいですか。 住み続けたいですか。

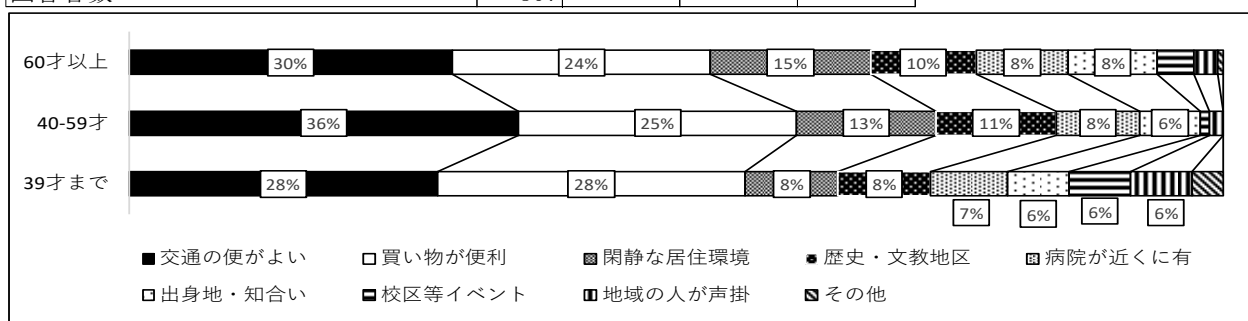
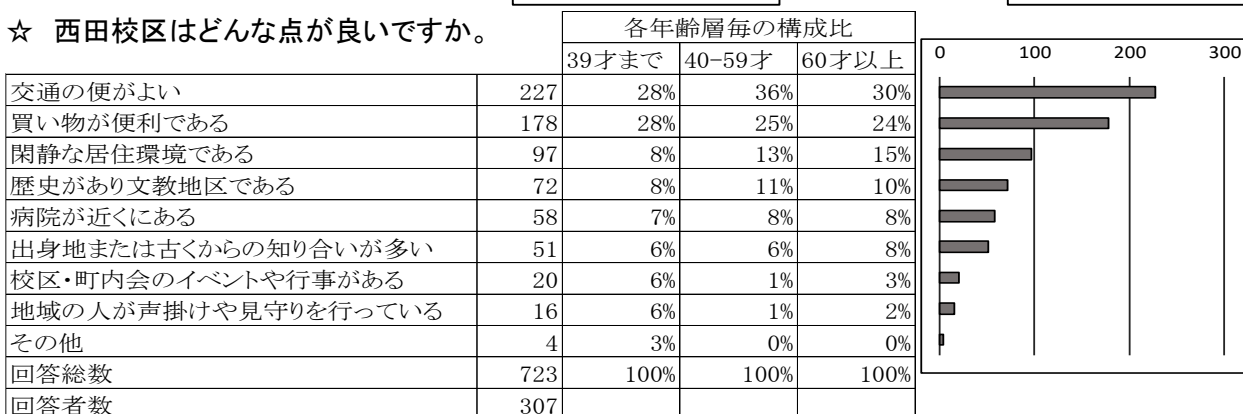
大人の意見



子どもの意見



### ☆ 西田校区はどんな点が良いですか。



### ☆ アンケート結果から見えてくるもの

- ① 大人も子どもも、ほとんどの人が、西田校区は住みやすい、住み続けたいと思っている。
- ② 西田校区の良い点は、各年齢層とも、交通の便が良い、買い物が便利である等利便性を挙げており、また、閑静な居住環境や歴史があり、文教地区であるの回答も合計で約20%ある。  
これは交通拠点である中央駅に近いことや古い歴史をもち閑静な居住環境が残っているという大きな地域特性と考えられる。
- ③ 住みやすい西田校区を継承するためには、地域の輪・協力が大切であり、住民ニーズも踏まえながら、伝統行事、美化活動、防犯・防災活動、文化活動等を進める必要がある。



## □ どのようなまちになって欲しいですか。

### ★ 大人のアンケート結果から

		各年齢層毎の構成比		
		39才まで	40-59才	60才以上
便利で快適なまち	173	18%	23%	19%
高齢者が安心して生活できるまち	160	10%	13%	24%
防災・防犯・防火対策が充実したまち	120	13%	15%	14%
安心して子育てができるまち	112	21%	17%	9%
活気あふれるまち	68	12%	8%	7%
お互いの「かお」が見えるまち	64	8%	6%	9%
閑静なまち	64	7%	9%	7%
教育・文化・スポーツが充実したまち	36	10%	4%	3%
行政や関係機関と連携・協働のできるまち	21	1%	2%	3%
歴史や文化を学び伝えるまち	20	0%	3%	2%
特になし	7	1%	0%	1%
その他	1	0%	0%	0%
回答総数	846	100%	100%	100%

### ★ 西田小6年生のアンケート結果から

	男子	女子	計	割合(%)
犯罪が少なく快適で安全・安心にくらせるまち	36	33	69	87.3%
自然や環境にやさしいまち	30	18	48	60.8%
校区に住み人たちがお互いに助け合い協力し合うまち	9	21	30	38.0%
障がいのある人や高齢者にやさしく、健康（けんこう）づくりが盛んなまち	12	16	28	35.4%
子供から高齢者まで学びたいことを学習したり、盛んにスポーツをしたりするまち	11	4	15	19.0%
歴史や地域の文化を大切にすまち	8	3	11	13.9%
子育てや教育が大切にされているまち	3	7	10	12.7%
その他	1	2	3	3.8%
計	110	104	214	

割合は回答者79名に対するものである。→

### ★ 城西中2年生のアンケート結果から

	男子	女子	計	割合(%)
犯罪が少なく快適で安全・安心にくらせるまち	24	30	54	59.3%
自然や環境にやさしいまち	26	24	50	54.9%
校区に住み人たちがお互いに助け合い協力し合うまち	4	17	21	23.1%
障がいのある人や高齢者にやさしく、健康（けんこう）づくりが盛んなまち	9	9	18	19.8%
子供から高齢者まで学びたいことを学習したり、盛んにスポーツをしたりするまち	7	10	17	18.7%
歴史や地域の文化を大切にすまち	7	8	15	16.5%
子育てや教育が大切にされているまち	2	4	6	6.6%
その他	3	0	3	3.3%
計	82	102	184	

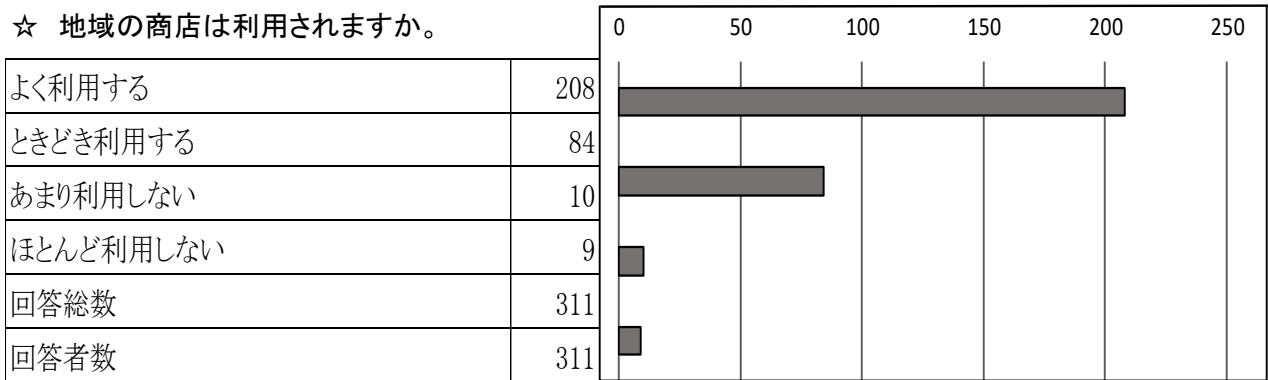
割合は回答者91名に対するものである。→

### ★ アンケート結果から見えてくるもの

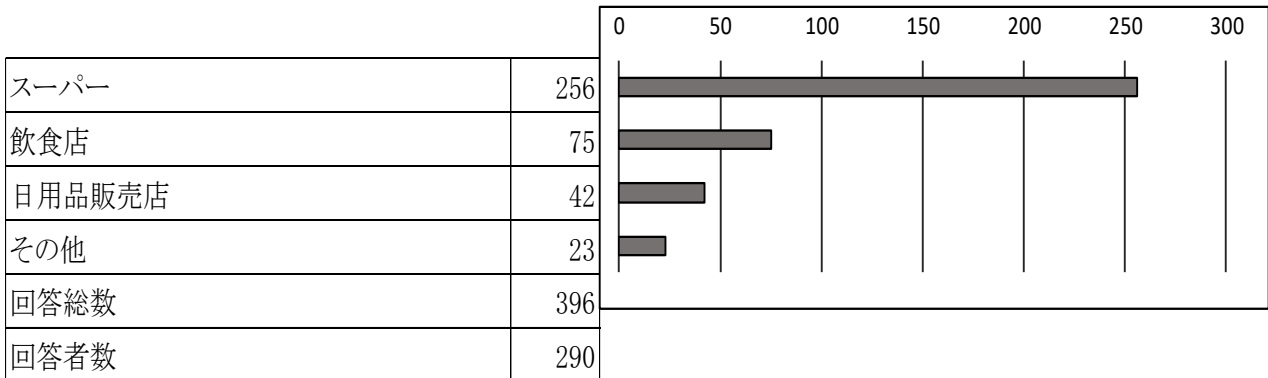
- ① 全世代とも、防犯・防災等、安心・安全なまちを望む声が多い。
- ② 大人は便利で快適なまち、子どもは自然や環境にやさしいまちを望む意見が多い。
- ③ お互いの「顔」が見えるまち、お互いに助け合うまちの意見が少なく、特に男性が少なかった。地域の連携により、特に高齢者や子育て世代などが安心してくらせるまちづくりが基本となるので、今後地域の繋がりをどのように作っていくか、地域の活動・行事等の見直しや充実を図っていく必要がある。

## □ 地域商店街の活性化について

### ☆ 地域の商店は利用されますか。

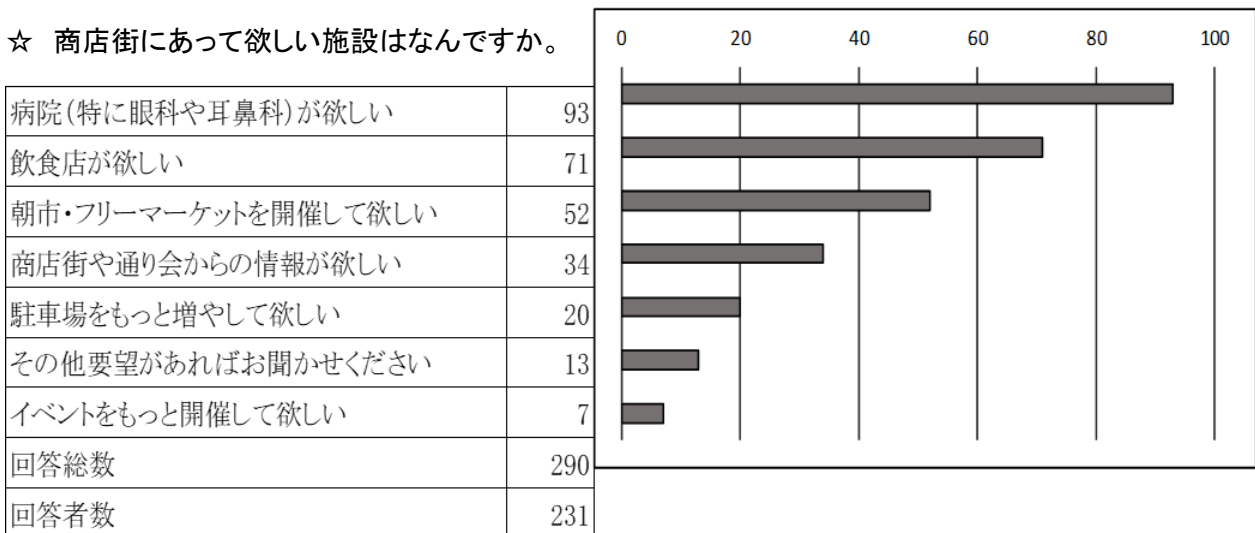


上で、(よく利用する, ときどき利用する)と回答された方, どのようなお店を利用されていますか。



その他の回答では, コンビニ(7名), 理容・美容院(6名), 病院・薬局(5名), クリーニング店(3名)等であった。

### ☆ 商店街にあって欲しい施設はなんですか。



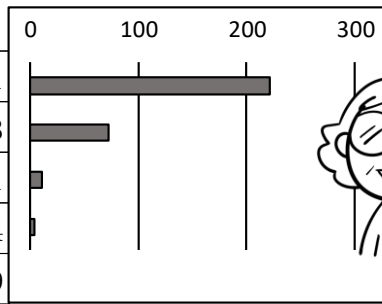
### ☆ アンケート結果から見えるもの

- ① 地域の商店をよく利用する, 時々利用するを合わせると, 大多数の人が利用している。
- ② 利用者の中では, スーパーが最も多く, 続いて飲食店, 日用品販売店となっている。
- ③ 「朝市・フリーマーケットを開催して欲しい」, 「商店街や通り会からの情報が欲しい」等については, 活性化を図るうえで貴重な意見であり, これらを踏まえた活性化の対策を検討する必要がある。

□ 校区や町内会の広報誌等の閲覧や行事への参加について

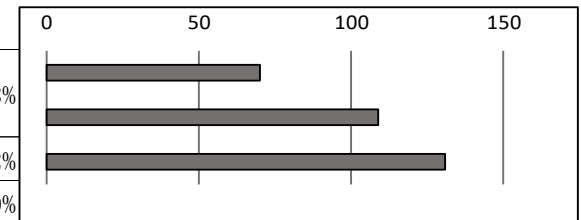
☆ 広報誌や回覧板・掲示板などは見えていますか。

必ず見るようにしている	221
たまに見ている	73
ほとんど見ていない	11
関心がない	4
回答総数	309



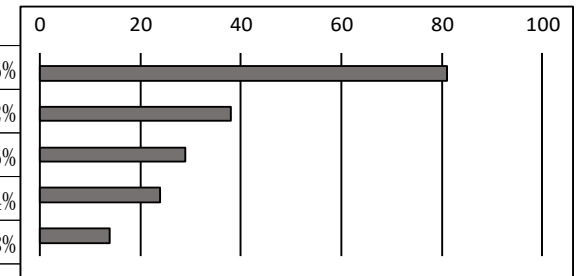
☆ 校区行事(運動会, 文化祭等)や町内会行事(敬老会, 研修旅行, 夏休みラジオ体操等)に参加していますか。また参加のきっかけは何ですか。

参加している	70	58%
ときどき参加している	109	
参加していない	131	42%
回答総数	310	100%
回答者数	310	



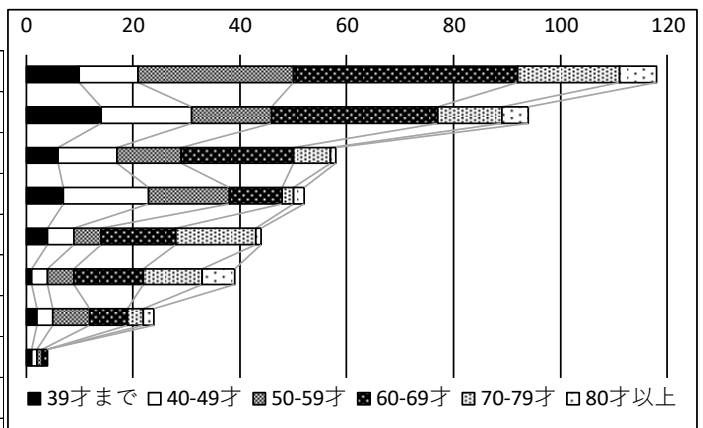
上問で、「参加している(時々参加するも含む)」のきっかけは何ですか。

自分が役員になったので	81	46%
回覧板・掲示板を見て	38	22%
町内会等の役員さんに誘われて	29	16%
家族や知り合いに誘われて	24	14%
その他	14	8%
回答総数	186	
回答者数	176	100%



☆ 校区や町内会行事等の活性化のために必要なことは(主なものを3つまで)?

若い人や転勤者が参加しやすくする	118
情報の提供や広報	94
イベントや行事の見直しや工夫	58
地域の商店街との連携・協力	52
隣近所とふれあう機会	44
定年後の活動の場	39
各種団体や事業所との連携・協力	24
その他	4
回答総数	433
回答者数	274



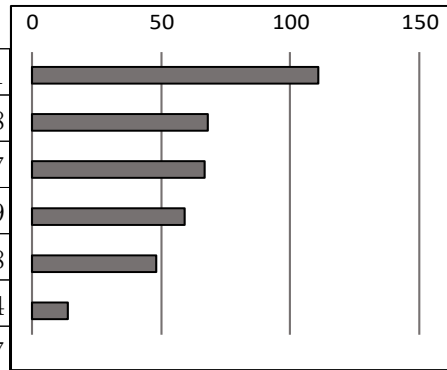
☆ アンケート結果から見えるもの

- ① 大多数の人が、広報誌や回覧板・掲示板に目を通しており、情報伝達的手段としては有効と思われる。(どの伝達方法がより有効か、年齢層等も加味し検討する。)
- ② 参加のきっかけは、「自分が役員になったから」が約46%、「回覧板を見て」が約22%、「知人に誘われて」が、約31%になっている。このことから、役員経験者への働きかけ、知人等への声かけや若い人や転勤者が参加しやすくなる工夫が必要と思われる。また、学校・PTA、あいご会、おやじの会等との連携も課題である。

□ 環境美化や防災防犯対策について

☆ 校区の環境問題で気になることは？

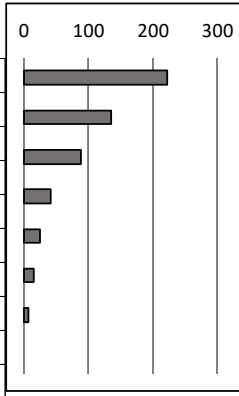
ゴミ出しのマナーが悪い	111
交通危険箇所がある	68
犬・猫のふん害	67
暗がりがある	59
空き家空き地	48
その他	14
回答総数	367
回答者数	261



☆ 災害で日頃不安に思うことは？

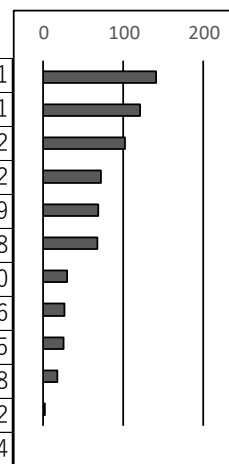
自然災害  
(主なものを2つまで)

地震	223
桜島の噴火	135
台風	89
水害	42
がけ崩れ	25
特になし	15
津波	7
その他	0
回答総数	536
回答者数	307



自然災害以外  
(主なものを3つまで)

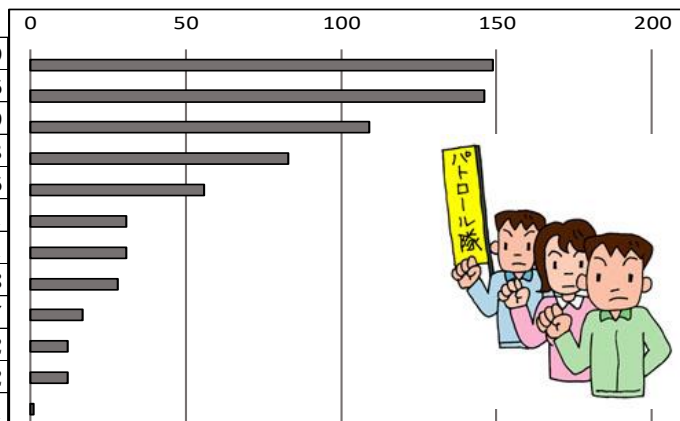
交通事故	141
不審者	121
火災	102
子どもに対する犯罪	72
空き巣	69
高齢者に対する犯罪(うそ電話等)	68
痴漢等の性犯罪	30
騒音	26
特になし	25
空き家等の貰い災害	18
その他	2
回答総数	674
回答者数	230



☆ 安心安全面で地域で充実させて欲しいものは？

(主なものを3つまで)

防犯カメラ	149
防犯灯(街灯)	146
防犯パトロール	109
情報の提供	83
危険箇所マップ	56
子ども110番の家	31
AED設置	31
防災訓練	28
交通安全教室	17
防犯訓練	12
各種講習会	12
その他	1
回答総数	675
回答者数	290



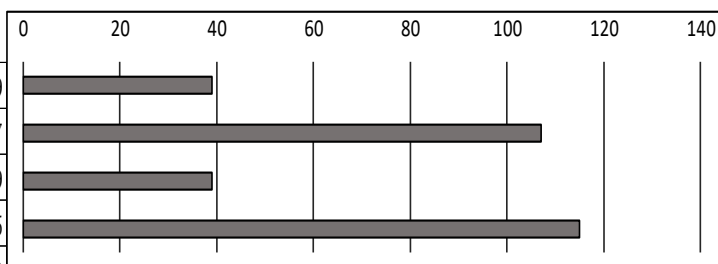
☆ アンケート結果から見てくるもの

- ① 環境問題では、個人のマナーの問題であるゴミ出しや犬猫のふん害との回答が、全対象者の50%を占め、また記述でも多数の意見があった。ゴミの分別等に関するお知らせやゴミステーションの立哨、ゴミネットの設置等を進める必要がある。
- ② 交通危険箇所や暗がり、自然災害等への対応は地域として取り組む必要もあり、防犯灯の設置(管理)や防犯パトロール、危険箇所マップの作成、防犯訓練等を検討する。
- ③ 高齢化の進む中、空き地・空き家は地域の大きな課題となると想定される。

## □ 健康スポーツについて

### ☆ 健康づくりへの取り組み回数は？

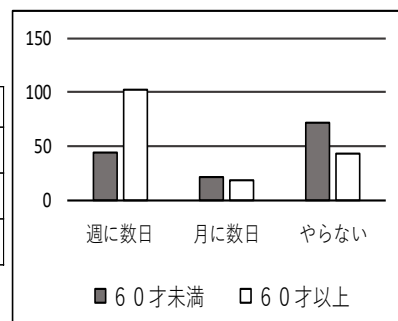
毎日	39
週に数日(1日以上)	107
月に数日(1日以上)	39
やっていない	115
回答総数	300



(年齢区分)と取り組み回数を考察すると

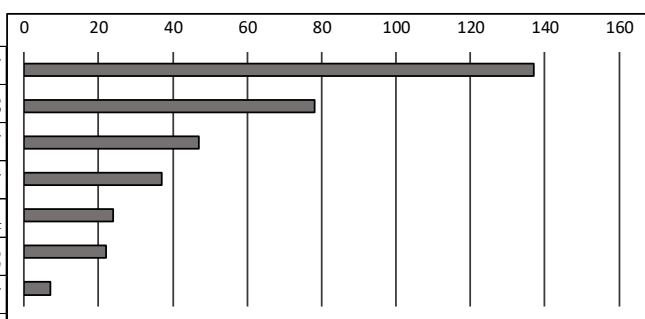
	週に数日	月に数日	やらない	合計
60才未満	44	21	72	137
60才以上	102	18	43	163
合計	146	39	115	300

60才以上の人に日々の運動習慣が多いことがうかがえる。



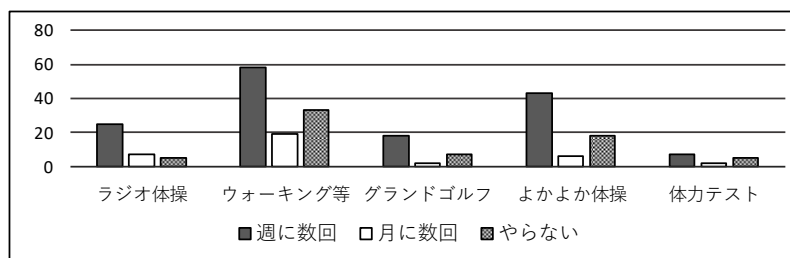
### ☆ 地域でスポーツイベントを開催するとしたら、なにを希望しますか？

ウォーキング	137
よかよか体操・らくらく体操	78
ラジオ体操のつどい	47
グラウンドゴルフ	37
ジョギング	24
体力テスト会	22
その他	7
回答総数	352
回答者数	235



60才以上を対象に、日頃の運動習慣と、希望する活動を考察すると

	ラジオ体操	ウォーキング等	グラウンドゴルフ	よかよか体操	体力テスト	合計
週に数回	25	58	18	43	7	151
月に数回	7	19	2	6	2	36
やらない	5	33	7	18	5	68
合計	37	110	27	67	14	255

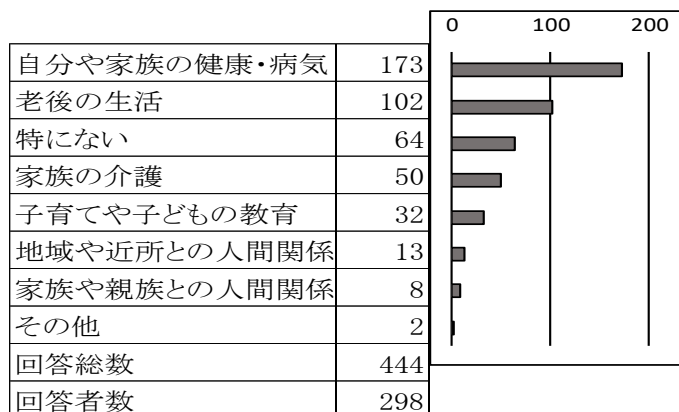


### ☆ アンケート結果から見えてくるもの

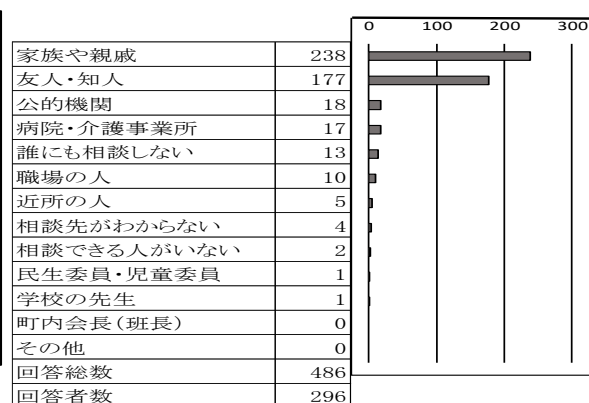
- ① 運動習慣では、約半数が週数日以上運動習慣があり、特に60才以上では60%を超える。
- ② 運動をやらない人も全体で約40%いる。今後は、健康スポーツに係る取組として体力テストを検討していく。
- ③ 60才以上を対象に希望する活動を考察すると、運動をやらない人でも、ウォーキング、よかよか体操の希望者の割合は高い。

## □ 地域福祉について

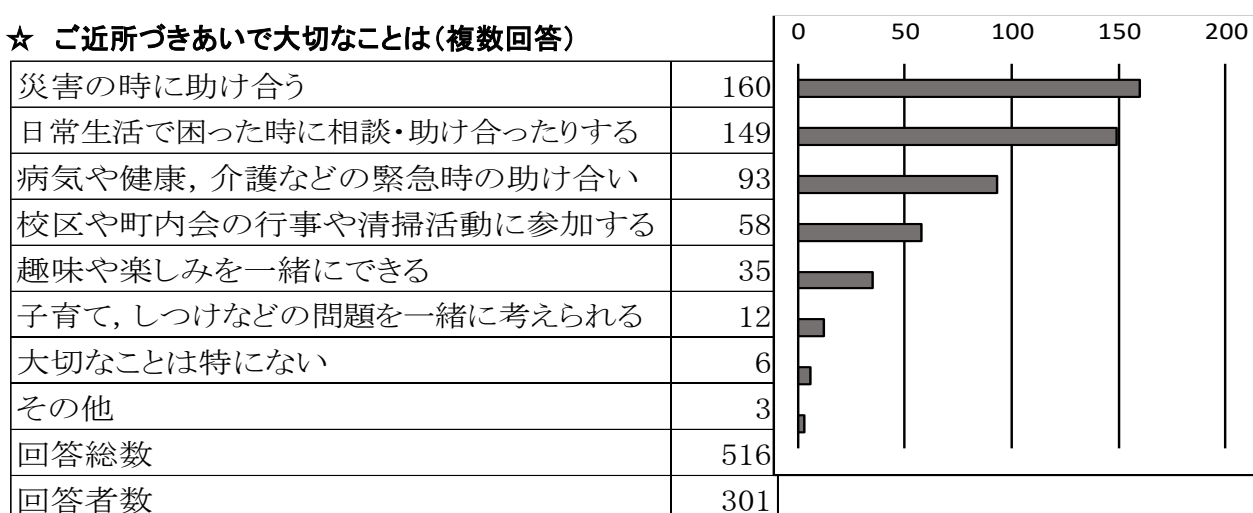
★ 日頃どのような悩みや不安を感じていますか。



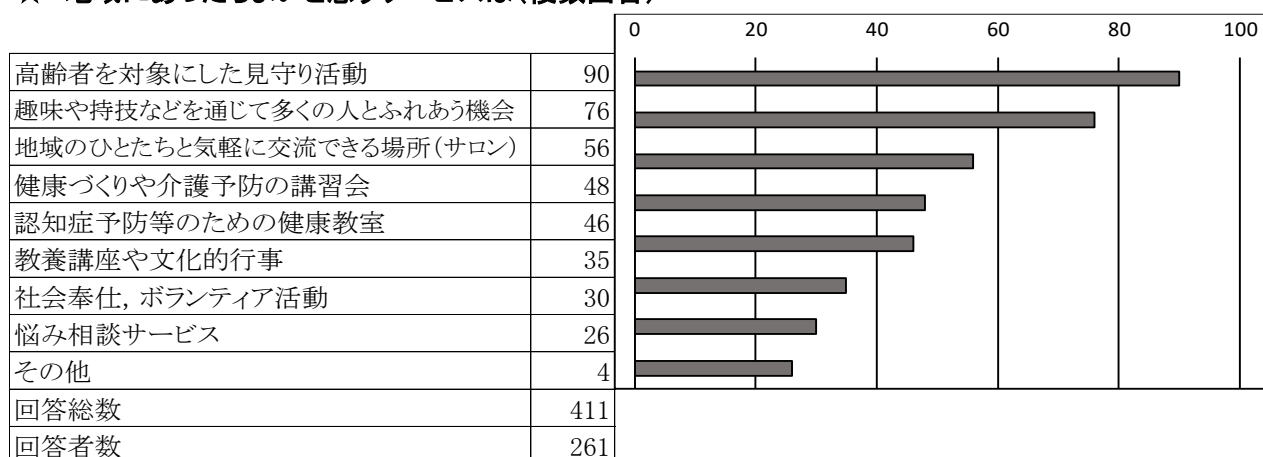
また、誰に相談しますか。(複数回答)



★ ご近所づきあいで大切なことは(複数回答)



★ 地域にあったらよいと思うサービスは(複数回答)

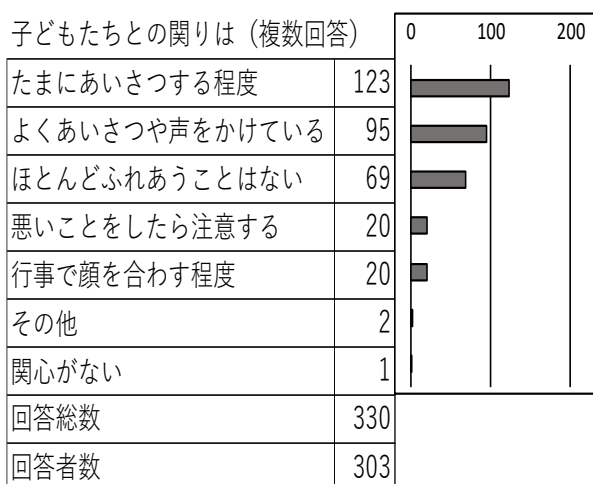


★ アンケート結果から見えてくるもの

- ① 日頃の不安等は、自分や家族の健康・老後の生活、家族の介護が多数であった。  
誰に相談するかの結果からみると、地域福祉に重要な役割を担っている民生委員・児童委員の役割の周知を図るの必要があり、社会福祉協議会との連携が重要である。
- ② 近所づきあいでは、災害時や緊急時の助け合い意識は大多数の人が持っている。
- ③ 地域にあったらよいサービスは、既存の取組の中でも、高齢者見守り活動、成人学級、女性学級、ふれあい会食、介護講習会等があり、それらを着実に推進するとともに、周知も図っていく必要である。

## □ 青少年育成について

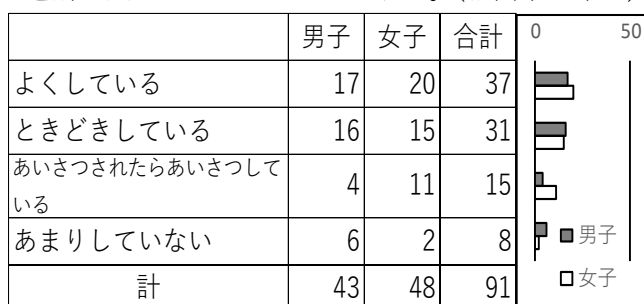
### ☆ あいさつ(子どもとおとなの)はどの程度していますか。



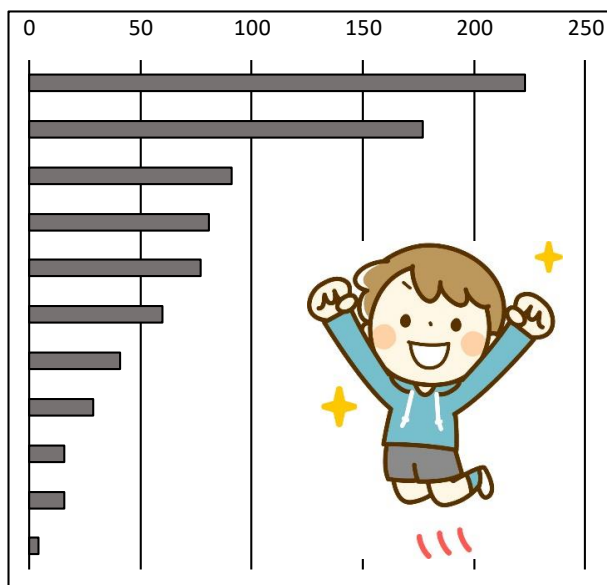
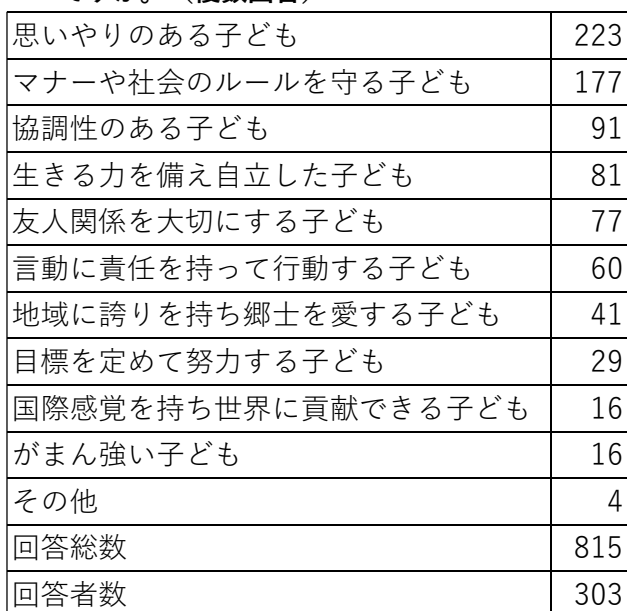
近所の人にあいさつしていますか。(西田小6年生)



近所の人にあいさつしていますか。(城西中2年生)



### ☆ 西田の子どもたちにどのように育てて欲しいですか。(複数回答)



### ☆ アンケート結果から見えるもの

① 近所の人とのあいさつについては、小学生は時々しているを含めると大多数があいさつをしている。また中学生も70%以上があいさつをしている。

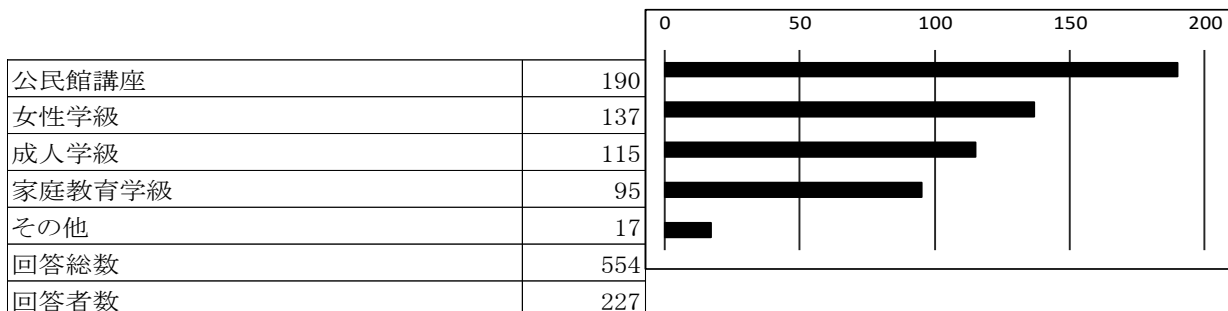
地域全体では、朝のあいさつ運動や交通安全見守り等を通じあいさつの輪をひろげていく。広げていく。

② どのような子どもに育ててほしいかでは、思いやりのある子ども、マナーや社会のルールを守る子どもへの期待が特に大きい。



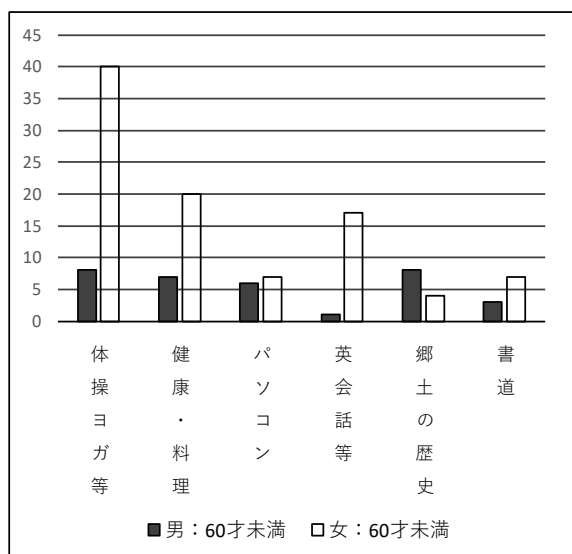
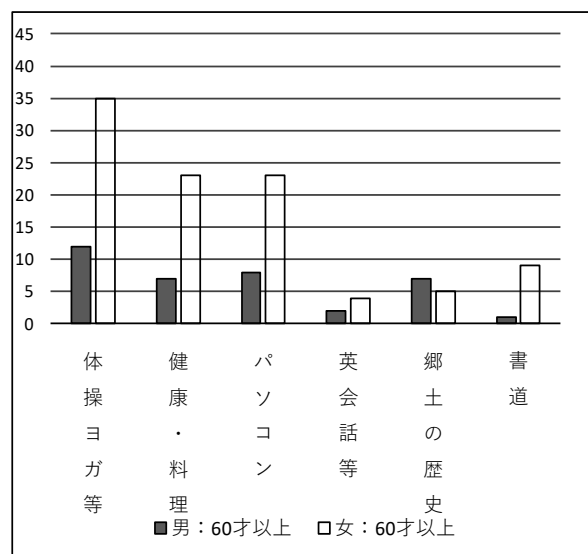
## □ 地域文化について

### ☆ 校区の社会学級等について知っていますか。



### ☆ 校区ではどのような講座・セミナーを開いて欲しいですか。

	体操ヨガ等	健康・料理	パソコン	英会話等	郷土の歴史	書道	合計
男:60才以上	12	7	8	2	7	1	37
女:60才以上	35	23	23	4	5	9	99
男:60才未満	8	7	6	1	8	3	33
女:60才未満	40	20	7	17	4	7	95
合計	95	57	44	24	24	20	264



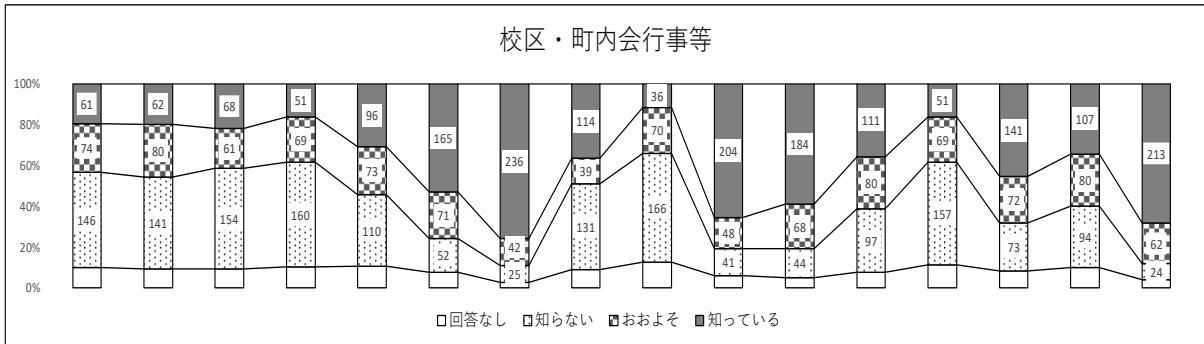
### ☆ アンケート結果から見えるもの

- ① 校区講座である成人学級，女性学級は，約4割の人が認知している。  
ただ，参加してみたいかの回答では，参加したいが約1割となっている。
- ② 女性の参加希望が多いが，どのような講座を希望するかについては，健康体操やヨガ，料理の希望が多い。
- ③ 年齢別では，60才以上の女性ではパソコン，60才未満の女性では英会話の希望も多い。



## □ 校区・町内会の行事について

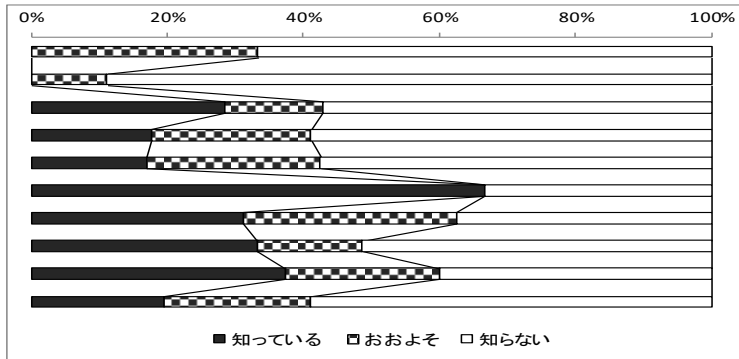
### ☆ 校区・町内会の行事を御存知ですか。



	成人学級	女性学級	青少年健全育成大会	ふれあい交流会	ファミリー歩こう会	セゴドンのエンコ	校区民大運動会	校区社会人体育大会	もっと知ろうよ郷土の歴史	鬼火だき	西田校区文化祭	お達者クラブ・ふれあい会食	子育てサロン	朝のあいさつ声かけ運動	緑地帯清掃	西田小バザー
知っている	61	62	68	51	96	165	236	114	36	204	184	111	51	141	107	213
おおよそ	74	80	61	69	73	71	42	39	70	48	68	80	69	72	80	62
知らない	146	141	154	160	110	52	25	131	166	41	44	97	157	73	94	24
回答なし	31	29	29	32	33	24	9	28	40	19	16	24	35	26	31	13
回答対象者	312	312	312	312	312	312	312	312	312	312	312	312	312	312	312	312

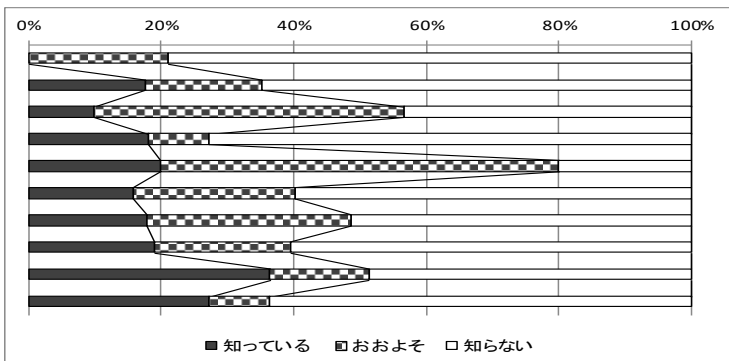
### ○青少年健全育成大会の認知度を年齢層で分析すると

	知っている	おおよそ	知らない
男性：～29才	0	1	2
男性：～39才	0	1	8
男性：～49才	2	1	4
男性：～59才	3	4	10
男性：60才～	8	12	27
女性：～29才	2	0	1
女性：～39才	5	5	6
女性：～49才	13	6	20
女性：～59才	15	9	16
女性：60才～	20	22	60



### ○ふれあい交流会の認知度を年齢層で分析すると

	知っている	おおよそ	知らない
男性：～49才	0	4	15
男性：～59才	3	3	11
男性：～69才	3	14	13
男性：～79才	2	1	8
男性：80才～	1	3	1
女性：～49才	9	14	34
女性：～59才	7	12	20
女性：～69才	11	12	35
女性：～79才	12	5	16
女性：80才～	3	1	7



### ☆ アンケート結果から見えてくるもの

- ① 校区民大運動会、西田小バザー、鬼火だき、西田校区文化祭は認知度が高く、また運動会は平成30年で39回を迎えるなど、いずれも長い歴史があり、校区民のコミュニケーションを図る場ともなっており、継続して開催していきたい。
- ② 青少年健全育成大会やふれあい交流会など全体の認知度からは低い行事もある。対象となる年齢層に限られることが要因としてあげられる。年齢層も含め分析すると、青少年健全育成は子育て世代、ふれあい交流会は高齢者では認知されていることが分かる。ただ、男性の認知度が低いので、各行事への男性の参加を促す取組を、町内会、学校、おやじの会、老人会等とも連携して進める必要がある。

## □ 記述意見について



### ☆ まちづくりなどについて

- ・ 今より更に住みやすい西田校区となる事を願っています 女性：～69才
- ・ 安全安心で活気あるまちづくりを考えてくださること、感謝申し上げます。  
どうぞよろしく願いいたします。 女性：～59才
- ・ 最近若い人達が家を建てて子どもの数も増え城西も賑やかになって安心しています。  
昔から環境がいいので住みやすく落ち着いて生活のできる地域で誇りに思います。  
ありがとうございます。 女性：～69才
- ・ 若い人たちが参加しやすいようなシステムを作る、直接の声掛け 男性：～59才
- ・ 子どもや年寄りが生活していくうえで協力しあえる町であって欲しい 女性：～69才
- ・ 子どもたちがのびのびと学んだり遊んだりしづらようです。子どもの声や学校の音など  
騒音になるかもしれませんが私たちの将来を支えてくれる未来の皆さんです。私たち  
の子ども時代のようにあたりまえに学んだり遊んだりできるような西田校区になって欲しいです。 女性：～39才
- ・ 子どもたちがのびのびと遊んだり学んだりできません(公園で遊ぶなど言われたり  
運動会の花火は鳴らせない 学校のスピーカーがうるさいなどと言われる)  
女性：～39才
- ・ 1.町内会活動役割と行政組織との係の確立と活動の方向性  
2.協議会町内会で達成すべき事項の確立と中期年度計画の作成  
3.活動の核心となる青年中年及び子ども重視の施策と振興(案)  
4.近・中期の情勢分析・認識の共有と方策  
5.掲示板の増設拡充と情報共有 女性：～79才



### ☆ あいさつやコミュニケーションなどについて

- ・ イベントがあってもほしいが、当事者だけの盛り上がりになっても意味がないので、日頃気楽に声をかけあえる関係づくりが大事だと思う。 女性：～69才
- ・ 協力を頼める(気軽に)ご近所のあたたかい雰囲気作りが先に大事だと感じます(特に子育てや介護を孤独にされている方達を手助けサポートできたら・・・) 女性：～69才
- ・ 月に1回朝のあいさつ運動 男性：～79才
- ・ 出会えば必ず声かけ 親愛の情がでてしまう など 日常のあいさつ が他に4件  
女性：～79才外
- ・ 時代的に子ども達に声をかけにくい 女性：～79才

## ☆ 町内会加入などについて

- ・まちづくり協議会, 町内会活動の町民への周知協力依頼が必要。  
賃貸マンションの住民増加にも関わらず未加入もあり  
当該住民意向の把握, 実態把握ができないのが課題 男性: 80才～
- ・町内会加入率アップについて具体的なアドバイスが欲しいです 女性: ～69才
- ・町内会の存続が危ぶまれている昨今、その必要性を広報活動する事が一番大事と思います。誰でもわかる言葉で簡単明瞭な「町内会がないと生活できない」位のインパクトのあるキャッチコピーを考える事を手始めに長所をアピールして下さい  
女性: ～69才
- ・地域は皆で支えあっていくものなので、町内会への参加が100%になればいいと思います。子どもがいないから入らなくていいというのは寂しく思います。女性: ～39才

町内会

## ☆ 校区内の環境などについて

- ・5月だけゴミの分別がメチャクチャな時がありました。  
引っ越しの時期だからでしょうね 女性: ～69才
- ・町内会に入っていない近所のマンションの住民のゴミ出しが悪い 男性: ～69才
- ・ガード下や公園での猫のえさやり 男性: 80才～
- ・ねこやカラスがゴミ捨て場のゴミを荒らしている 女性: ～39才
- ・コーヒー缶, 食物の包装袋が道路に捨てられている 男性: ～79才
- ・ごみ・タバコのポイ捨て 男性: ～79才
- ・ゴミ出しのマナーが悪い 多数同意見あり 女性: ～49才 など
- ・野良猫のふん尿 女性: ～49才



## ☆ 交通問題などについて

- ・水上坂の事故が多い。子どもの登下校が不安。通学時間帯だけでも一方通行にするなど市へ申請して欲しい。 女性: ～39才
- ・道が狭い場所などが多い点 多数同意見あり 女性: ～39才 など
- ・市営バスの便数が少なくなり不便です 多数同意見あり 女性: ～69才 など
- ・城西本通りに市バスがあまり通っていない, 西田校区にコミュニティバス(百円位で)走らせて欲しい 女性: ～69才
- ・ミラーが少ない 女性: ～39才
- ・交通量が多いため子どもの安全確保にかなり不安 女性: ～29才
- ・狭い道なのにスピード出しすぎの車が多い 男性: ～69才



## ☆ 防災・防犯などについて

- ・ 常盤公園の周辺は夜は暗すぎる気がします。 女性：～39才
- ・ 台風の時の避難場所の裏が山です。 女性：～79才
- ・ もう少し街灯の数を増やして欲しいです。 女性：～49才
- ・ 街灯が通りによってはすごく少ないと思います。 女性：～39才
- ・ 深夜に大声でさわいでいる若者やバイクの騒音が最近多いと思います。それぞれが注意をして行動してもらいたいと思います。 男性：～69才
- ・ 通学時の交通事故 女性：～39才



## ☆ どんな点が不便ですか。どんな施設があったら良いですか

- ・ お店が少なくなってきました。(買物等 車で出かけることが増えました) 女性：～69才
- ・ 西田市をやってほしい 女性：80才～
- ・ フリーマーケットの場所としては小学校庭(難しいでしょうか?) OR公園等はいかがでしょう 女性：～69才
- ・ 農作物は形は悪くても新鮮なとれたてが欲しい 女性：～79才
- ・ 家族で入れるレストランと喫茶店が少ないと思います。結果車で他地域へ移動して店を探している。 女性：～59才
- ・ 子ども(小学生・幼児)と気軽に手軽に食事できるお店がアミュにしかなくて不便です。  
女性：～39才
- ・ コンビニやスーパーが欲しい 20名近くの同意見あり 女性：～39才など
- ・ 病院や薬局が欲しい 多数の同意見あり 女性：～69才など
- ・ 食料品・日用品の店など 多数の同意見あり 女性：～69才など



## ☆ 不満な点は

- ・ 班長業務についてサラリーマン子育て世帯では集金等業務は負担。日中平日は時間が取れず少ない軒数でも全ての世帯を回るのは時間がかかります。何とかならないのでしょうか 男性：～39才
- ・ 大きな町は、あいごの係の負担が大きいので、役割分担をしていく必要がある。女性：～49才
- ・ バザーの品があっても持って行くことができませんので、取りにきてくださるとよろしいのですが 女性：～79才
- ・ 校区運動会や社会人体育大会への参加は負担が大きいので毎年ではなく2年に1度とかにすることはできないか 女性：～49才

## ☆ 小学生・中学生の要望や意見



- ・ 校区の人ともっとふれあって仲良くしたい。
- ・ 自然かんきょうのよいまちにしたい。
- ・ いじめのないやさしくてあかるいまちにしたい。 ゴミ拾いなどの活動をさかんになりたい。
- ・ お年寄りの方が多いので校区に住む方たちみんなお互いに協力し合うまちづくりをしてください。そして子供から大人までみんなが気持ちのいいあいさつをしておばあちゃんおじいちゃんにやさしくする。
- ・ きれいな西田校区にするために花を植えてください。
- ・ 西田小の人などと楽しい遊びをする。(ふれあうことをする) 西田小の人ともっと仲良くなるためにあいさつの後に楽しい遊びをする。(ふれあうことをする)
- ・ 犯罪がないような町にしたい。 自然にやさしい町 高れい者にやさしい町。
- ・ 西田地区の自然や文化をこれからも守ってほしい。
- ・ 僕は笑顔があふれる西田校区にしたいです。
- ・ みんなが仲良く笑顔いっぱいな校区をつくりたい。そして年れい男女かんけいがない校区
- ・ 子ども110番の家を増やしてほしい。
- ・ 地域の人全員が笑顔であいさつしてくれる明るい町。
- ・ みんなが仲良くして、お互いに助け合えるすばらしい西田校区にしたい。
- ・ 西田校区はこれから校区で協力しすばらしい西田校区になると思います。
- ・ 常盤公園に時計台を作ってほしい。西田公園をもっときれいにしてほしい。
- ・ 子供たちが自由にスポーツができる公園をつくってほしいです。また、地域の人と仲良くするためにあいご会活動を増やしてほしいです。
- ・ 西田公園を新しくしてほしいです。友達と遊ぶ場所をふやしてほしいです。バザーの時間をすこしふやしてほしいです。
- ・ 常盤の道をもっと広くしてほしいです。
- ・ 水上坂をお年寄りでも安心して歩けるような道路にしてほしい。
- ・ 近くに勉強や読書などが自由にできるキッズルームのような物を作ってほしい。
- ・ 西田校区の大人と子どもが遊べるイベントをつくる。
- ・ 新年になったら校区でかきぞめ大会を行ってほしい。(大人, 子ども 分けて)
- ・ 月に1回西田小学校でワークショップをかいさいしてほしい。
- ・ 校区の清そうがあればいいなと思った。
- ・ 時々ポイ捨てなどがあるのでそこはちゃんとゴミ箱などに入れて欲しい。
- ・ 毎日ボランティアをする。ほかに動物などを飼い少しでも命の大切さを知る。
- ・ この校区を日本の中心となるぐらいの町にしたい。
- ・ お祭りで盛り上がるようにもっと人に呼び掛けて欲しい。
- ・ 各学年(中学生も含めて)西田小出身者でスポーツ大会をしたい。